

Full-Sentence Definition 形式の日本語辞書サンプル

佐藤理史 夏目和子

2015年10月2日

(1) 【心強い：こころづよい】 イ形容詞

1. [〈何か〉があつて・〈誰か〉がいて] 《心強い》とは、
[頼ることのできる {〈何か〉があつて・〈誰か〉がいて}] 安心だと {思う・感じる} という
こと。
例：隣が病院なので、いざという時心強い。
2. 《心強い》〈味方〉とは、
頼りになる〈味方〉のこと。
例：友達に相談すれば、きっと心強い味方になってくれるでしょう。
3. [〈誰か〉が〈何か〉を] 《心強く》〈思う・感じる〉とは、
[〈誰か〉が〈何か〉を] 頼もしく〈思う・感じる〉ということ。
例：母は息子たちの言葉を心強く感じた。

(2) 【心細い：こころぼそい】 イ形容詞

1. 《心細い》とは、
{さびしい・不安だ} と {思う・感じる} ということ。
例：私は知らない土地での一人暮らしで心細かった。
2. 〈何か〉が《心細い》とは、
〈何か〉の残りが少なくなって不安な状態だということ。
例：給料日前なので財布が心細い。
3. [〈人〉が] 《心細く》〈なる・思う・感じる〉とは、
[〈人〉が] {さびしく・不安に} 〈なる・思う・感じる〉ということ。
例：夜になると急に心細くなってきた。

(3) 【快い：こころよい】 イ形容詞

- 1a. 《快い》〈刺激・環境：音・響き・香り・風・体験・空間・時間・季節など〉とは、
{気持ち・気分} が良いと感じる〈刺激・環境〉のこと。
例：滝のそばで、水が落ちる快い音に耳を傾けた。山に別荘を買って快い時間と空間を手に入れましょう。
- 1b. 《快い》〈感覚・感情：緊張(感)・睡眠・疲れ・笑い・満足感・感動など〉とは、
{気持ちが良い・質の良い} 〈感覚・感情〉のこと。
例：会議は快い緊張感の中で進められた。音楽は生きる喜びや快い感動を与える。

- 1c. 《快い》〈対応・返事・サービス・協力など〉とは、
 {質の良い・[受けて] 嬉しいと思う} 〈対応・返事・サービス・協力〉のこと。
例：無理な注文にも快い対応をしてくれた。「もちろんOKです」という快い返事がきた。
2. 〈風・音楽など〉が《快い》とは、
 〈風・音楽など〉を気持ちよいと {思う・感じる} ということ。
例：疲れた耳に笛の音が快い。
3. [〈誰か〉が〈何か〉を] 《快く》〈行なう：引き受ける・応じるなど〉とは、
 [〈誰か〉が〈何か〉を] {喜んで・進んで} 〈行なう〉ということ。
例：彼は難しい仕事を快く引き受けてくれた。
4. [〈誰か〉が〈何か〉を] 《快く思わない》とは、
 [〈誰か〉が〈何か〉を] 嫌っているということ。
例：彼は私がここに来ることを快く思っていない。

(4) 【好ましい：このましい】 イ形容詞

1. 《好ましい》〈結果・状態・関係・印象など〉とは、
 [人が望むような] 良い 〈結果・状態・関係・印象〉のこと。
例：この実験から実に好ましい結果が得られた。
2. 《好ましい》〈人〉とは、
 人々によい印象を与える 〈人〉のこと。
例：たくさんの写真の中から好ましい人を選ぶ。
3. 〈何か〉が《好ましい》とは、
 〈何か〉を {都合がよい・期待に沿うものである} と {思う・感じる} ということ。
例：この番組は教育上好ましくない。

(5) 【渋い：しぶい】 イ形容詞

1. 《渋い》〈色・声・デザインなど〉とは、
 {落ち着いた・深い・地味な} 〈色・声・デザイン〉のこと。
例：派手な洋服より渋い色の着物が好き。
2. 《渋い》〈男の人・技・趣味など〉とは、
 {大人の・かっこいい} 〈男の人・技・趣味〉のこと。
例：あの健さんに似た渋い男性はだれですか？
3. 《渋い》〈食べ物・飲み物：果物・茶など〉とは、
 {舌がしびれる・苦い} 〈食べ物・飲み物〉のこと。
例：この柿の実はまだちょっと渋いね。甘いお菓子には渋いお茶が欲しくなる。
4. 《渋い》〈顔・表情など〉とは、
 {機嫌の悪い・きびしい} 〈顔・表情〉のこと。
例：客は渋い顔で私の説明を聞いていた。
5. 〈条件・状況・動きなど〉が《渋い》とは、
 〈条件・状況・動き〉が [期待していたより] {良くない・厳しい・少ない・鈍い} というこ

と。

例：この会社の車は値引きが渋い。動きが渋くなったはさみは油をさすとよい。彼はお金に渋いので期待してはいけません。

(6) 【しぶとい】 イ形容詞

1. 〈人・物〉が《しぶとい》とは、
〈人・物〉がかんたんに {負けない・諦めない・死なない} 性質だということ。

例：彼はしぶといので、なかなか負けを認めませんよ。

2. [〈人・物〉が] 《しぶとく》〈生きる・残る・続けるなど〉とは、
[〈人・物〉が] [困難な状況でも] 諦めないで〈生きる・残る・続ける〉ということ。

例：けがや病気にも負けず、しぶとく生き残っています。

(7) 【清しい・清々しい：すがすがしい】 イ形容詞

1. 《すがすがしい》〈感じ・空気・表情など〉とは、
[{汚い・曇った} ものがない] {清い・さわやかな} 〈感じ・空気・表情〉のこと。

例：そうじをすると清々しい気分になる。清々しい朝の空気の中を散歩する。選手たちの笑顔が清々しい。

(8) 【すばしこい・すばしっこい：すばしこい】 イ形容詞

1. 《すばしこい》〈動物・人・行動〉とは、
とても速い〈動物・人・行動〉のこと。

例：リスはすばしこいから捕まえるのがむずかしい。その子どもはとてもすばしこく逃げ回った。

(9) 【素早い：すばやい】 イ形容詞

1. 《素早い》〈行動：動作・移動・判断・作業など〉とは、
[必要なことを] {すぐの・とても速い} 〈行動〉のこと。

例：質問にはすばやい回答が求められる。

2. [〈人〉が (〈何か〉を)] 《素早く》〈行動する：動く・動かす・応じるなど〉とは、
[〈人〉が (〈何か〉を)] {すぐに・とても速く} 〈行動する〉ということ。

例：彼は受けたボールをすばやく投げ返した。

(10) 【切ない：せつない】 イ形容詞

1. 《切ない》〈思い・話・光景など〉とは、
泣きたくなるような〈思い・話・光景〉のこと。

例：恋人への切ない思いを歌にしました。

2. 〈何か [をすること]〉が《切ない》とは、
〈何か [をすること]〉がとてもつらいと {思う・感じる} ということ。

例：もうすぐお別れだと思うと切ないです。

(11) 【素っ気無い・素っ気ない：そっけない】 イ形容詞

1. 《そっけない》〈態度・声・返事など〉とは、
気持が入っていない〈態度・声・返事〉のこと。

例：彼のそっけない返事に腹が立った。

2. 《そっけない》〈文章・建物など〉とは、
工夫や飾りがなくてつまらない〈文章・建物〉のこと。
例：この家は広いけれどそっけないね。
3. [〈誰か〉に]《そっけなく》〈言う・答えるなど〉とは、
[〈誰か〉に] 短いことばで感情を表さないで〈言う・答える〉ということ。
例：「べつに」とそっけなく答えた。
4. [〈誰か〉に]《そっけなくする》とは、
[〈誰か〉に] {親切にしない・冷たくする} ということ。
例：昨日は忙しかったので、遊びに来た友達に素っ気なくしたら怒って帰ってしまった。

(12) 【高尚：こうしょう】 ナ形容詞

1. 《高尚 {な・なる}》〈人間・目的・趣味・生活など〉とは、
{上品な・立派な・程度の高い} 〈人間・目的・趣味・生活〉のこと。
例：彼がここに来たのはお金のため、高尚な目的などなかったのです。

(13) 【好調：こうちょう】 ナ形容詞

1. 《好調な》〈販売・経済・会社など〉とは、
よい {状態・成績} の〈販売・経済・会社〉のことをいう。
例：今年の新製品は好調な売れ行きを見せている。
2. 〈販売・景気・[野球などの] 選手〉が《好調だ》とは、
〈販売・景気・[野球などの] 選手〉の {調子・状態} がよいということ。
例：今年はビールの売れ行きが好調です。
3. [〈何か〉が]《好調に》〈売れる・伸びる・進む〉とは、
[〈何か〉が] 思ったようにどんどん〈売れる・伸びる・進む〉ということ。

(14) 【好評：こうひょう】 ナ形容詞

1. 〈ものごと〉が《好評だ》とは、
〈ものごと〉の {評判がよい・人気が高い} ということ。
例：このサービスは学生に好評だった。
2. 〈ものごと〉が《好評を {得る・博する}》とは、
〈ものごと〉が {高く評価される・人気ができる} ということ。
例：去年好評を得た商品をたくさん用意しました。

(15) 【巧妙：こうみょう】 ナ形容詞

1. 《巧妙な》〈方法・手段など〉とは、
ある目的のために、よく工夫された〈方法・手段など〉のこと。
例：悪質な商売では、巧妙な方法がとられます。
2. [〈誰か〉が〈何か〉を]《巧妙に》〈行なう〉とは、
[〈誰か〉が〈何か〉を] {みごとに・うまく} 〈行なう〉ということ。
例：彼は本当の目的を巧妙に隠していた。

(16) 【小柄：こがら】 ナ形容詞

1. 《小柄な》〈人〉とは、
体が小さい〈人〉のこと。
例：そこに小柄な女性が立っていました。

(17) 【滑稽：こっけい】 ナ形容詞

1. 《滑稽な》〈こと〉とは、
[[笑ってしまうような] おかしな・ばかばかしい] 〈物事〉のこと。
例：滑稽なことに、私の本を読んだことのない人が、私を批判している。
2. 《滑稽な》〈人・動作など〉とは、
[笑ってしまうような] おかしな〈人・動作〉のこと。
例：彼はいつもこっけいな仕草で人を笑わせた。

(18) 【孤独：こどく】 ナ形容詞

1. 《孤独な》〈人〉とは、
仲間や家族がなく、ひとりで寂しい〈人〉のこと。
例：友達のいない孤独な人間だと思われていた。
- 2a. 〈誰か〉が《孤独》を〈感じる・楽しむ・知るなど〉とは、
〈誰か〉がひとりで寂しい状況を〈感じる・楽しむ・知る〉ということ。
例：その頃の私は、毎日孤独を感じながら泣いて暮らしていました。
- 2b. 〈誰か〉が《孤独》に〈なる・耐えるなど〉とは、
〈誰か〉がひとりで寂しい状況に〈なる・耐える〉ということ。
例：孤独になることを恐れてはいけない。
3. 〈人〉が《孤独に》〈生きる・死ぬ〉とは、
〈人〉がひとりで寂しく〈生きる・死ぬ〉ということ。
例：都会では、家族も友達もなく、孤独に死んでいく人がいるそうだ。

(19) 【粉々：こなごな】 ナ形容詞

1. 〈何か〉が《粉々に {なる・碎ける}》とは、
〈何か〉が [何かの力を受けて] 粉のような状態になるということ。
例：ガラスが粉々に碎け散った。

(20) 【細やか・濃やか：こまやか】 ナ形容詞

1. 《細やかな》〈愛情・配慮・サービスなど〉とは、
相手を思う気持ちがすみずみまで行き届いている〈愛情・配慮・サービス〉のこと。

(21) 【固有：こゆう】 ナ形容詞

1. 〈何か〉に《固有 {の・な}》〈性質・問題・知識など〉とは、
〈何か〉に特有な〈性質・問題・知識〉のこと。
例：各国はそれぞれ固有の問題を抱えている。
2. 〈何か〉に《固有の》〈財産・領土・権利など〉とは、
他から与えられたのではなく、もとからそこにあった〈財産・領土・権利〉のこと。
例：言論の自由は固有の権利だ。

(22) 【雑：ぎつ】 ナ形容詞

- 1a. 《雑な》〈仕事・性格・印象・感じなど〉とは、
[ていねいさが足りない・きちんとしていない] 〈仕事・性格・印象・感じ〉のこと。
例：こんな雑な仕事をしていると信頼されませんよ。
- 1b. 《雑な》〈言葉・文字・作品・文章など〉とは、
[整っていない・完成していない] 〈言葉・文字・作品・文章〉のこと。
例：雑な文章で申し訳ありません。
2. [〈人〉が〈何か〉を] 《雑に》〈扱う・する〉とは、
[〈人〉が〈何か〉を] {粗末に・乱暴に} 〈扱う・する〉ということ。
例：中身はガラスなので雑に扱うと壊れます。

(23) 【残酷：ざんこく】 ナ形容詞

1. 《残酷な》〈人・行為・物事〉とは、
ひどいやり方で人や動物に苦しみを与える 〈人・行為・物事〉のことをいう。

(24) 【シック・chic：シック】 ナ形容詞

1. 《シックな》〈色・デザイン・服装・建物など〉とは、
[[派手でなく] 落ち着いた・上品でおしゃれな] 〈色・デザイン・服装・建物〉のこと。
例：今年の秋はヨーロッパ風のシックなスーツが流行です。

(25) 【質素：しっそ】 ナ形容詞

1. 《質素な》〈生活 | 食事 | 服 | 部屋・家など〉とは、
お金をかけない 〈生活〉、簡単で粗末な 〈食事〉、地味で安い 〈服〉、小さくて飾りのない 〈部屋・家〉のこと。
例：彼は仕事をやめてから質素な暮らしをしている。

(26) 【しとやか】 ナ形容詞

1. 《(お) しとやかな》〈女性・性格・動作〉とは、
上品で静かな 〈女性・性格・動作〉のこと。
例：おしとやかなお嬢さんですよ。
- 2a. [〈人〉が] 《しとやかに》〈振る舞う・歩くなど〉とは、
[〈人〉が] 静かに上品に 〈振る舞う・歩く〉ということ。
例：着物を着た時は、おしとやかに歩いてください。
- 2b. [〈人〉が] 《しとやかに》〈育つ〉とは、
おとなしくて上品な性格に 〈育つ〉ということ。
例：この娘はしとやかに育ってほしい。

(27) 【しなやか】 ナ形容詞

- 1a. 《しなやかな》〈何か：枝・体 (の一部)・布・動きなど〉とは、
流れるようにやわらかい [曲線を描く] 〈何か〉のこと。
例：猫の特徴はしなやかな体と動きです。

- 1b. 《しなやかな》〈人・心・生き方など〉とは、
 [力や変化にさからわず] やわらかく応じる 〈人・心・生き方〉のこと。
例：自由でしなやかな生き方をめざす。
2. 《しなやかに》〈動く・曲がる・生きる・変化するなど〉とは、
 流れるようにやわらかく 〈動く・曲がる・生きる・変化する〉ということ。
例：美しい女性がしなやかに踊る。

(28) 【種々：しゅじゅ】 ナ形容詞

1. 《種々の》〈何か：方法・原因・問題・生物・材料・病気など〉とは、
 {いろいろな・さまざまな} 種類の〈何か〉のこと。
例：頭痛は種々の原因で起こる。種々のデータに基づいた研究。
- 2a. [〈人〉が〈何か〉を]《種々に》〈考える・相談するなど〉とは、
 いろいろと 〈考える・相談する〉ということ。
例：これは皆で種々に考えた結果です。
- 2b. [〈人〉が〈何か〉を]《種々に》〈変える・分けるなど〉とは、
 さまざまな種類に 〈変える・分ける〉ということ。
例：食品は材料や作り方などで種々に分類することができる。

(29) 【詳細：しょうさい】 ナ形容詞

1. 《詳細な》〈調査・報告・記録など〉とは、
 丁寧で詳しい 〈調査・報告・記録〉のこと。
例：さらに詳細な調査が必要だ。
2. [〈人〉が〈何か〉 {を・について}]《詳細に》〈調べる・検討する・述べるなど〉とは、
 [〈人〉が〈何か〉 {を・について}] [こまかいところまで] 詳しく 〈調べる・検討する・述べる〉ということ。
例：面白そうな研究ですね、もっと詳細に説明してください。
3. 〈何か〉の《詳細》とは、
 〈何か〉の {細かいところ・詳しい点} のこと。
例：調査結果の詳細はホームページで公表しています。

(30) 【真実：しんじつ】 ナ形容詞

1. 《真実の》〈何か：姿・愛・世界・教えなど〉とは、
 {ほんものの・本質的な} 〈何か〉のこと。
例：これが人間の真実の姿です。
2. 〈何か〉は《真実だ》とは、
 〈何か〉は [うそではない] 本当のことであるということ。
例：彼の言葉は真実なのでしょうか。
- 3a. 《真実》を 〈知る・伝える・求める・隠す〉とは、
 {大切なこと・本当のこと} を 〈知る・伝える・求める・隠す〉ということ。
例：真実を話しているのに誰も信じてくれない。

3b. 《真実》を〈生きる・尽くす・貫く〉とは、
〔正しい道・正直であること〕を〈生きる・守る・貫く〉ということ。
例：真実をまもるために戦う。

4a. 〔〈人〉が〕《真実（に）》〈生きる・語る・愛するなど〉とは、
〔〈人〉が〕〔真剣に・正直に〕〈生きる・語る・愛する〉ということ。
例：ありのままを真実に語ります。

4b. 〔〈人〉が〕《真実（に）》〈どうだ〉とは、
〔〈人〉が〕本当に〈どうだ〉ということ。
例：彼は真実、私の話に興味があるようだった。

(31) 【神聖：しんせい】 ナ形容詞

1. 《神聖な》〈場所・もの・行為・力など〉とは、
〔宗教などの理由で〕大切にされている〈場所・もの・行為・力〉のこと。
例：ここはとても神聖な場所ですので写真撮影はできません。

2. 〈何か〉を《神聖視する》とは、
〈何か〉を〔神のように〕特別なものと考えて恐れ大切に扱うということ。
例：火を神聖視する人々。

(32) 【神秘：しんぴ】 ナ形容詞・形容詞的な名詞

1. 〈生命・宇宙・自然など〉の《神秘》とは、
〈生命・宇宙・自然〉についての〔まだよく知られていない〕〔不思議・秘密〕のこと。
例：星を見て宇宙の神秘を感じる。

2. 《神秘的な》〈物事：力・雰囲気・世界・光景・出来事・女性など〉とは、
〔不思議な・謎の多い〕〈物事〉のこと。〔{すばらしい・魅力的である} 場合が多い〕
例：現実にはあり得ない、神秘的な力がはたらいたのだと思う。

3. 《神秘の》〈世界・力・場所・自然など〉とは、
〔不思議な・知られていない〕〈世界・力・場所・自然〉のこと。
例：深い海の底には、神秘の世界が広がっていた。

(33) 【自在：じざい】 ナ形容詞

1. 《〔自由〕自在な》〈動き・考え・デザインなど〉とは、
いろいろな条件にしばられない自由な〈動き・考え・デザイン〉のことをいう。
例：パソコンを使って自在なデザインを楽しむ。

2. 〔〈人〉が〈何か〉を〕《〔自由〕自在に》〈変える・使う・動かす〉〔ことができる〕とは、
〔〈何か〉を〕思ったとおりに自由に〈変える・使う・動かす〉〔ことができる〕ことをいう。
例：高さを自在に変えることができる。

(34) 【柔軟：じゅうなん】 ナ形容詞

1a. 《柔軟な》〈木・体など〉とは、
やわらかくて折れにくい〈木・体〉のこと。
例：柔軟な木は強い風が吹いても折れない。

- 1b. 《柔軟な》〈考え方・やり方・制度など〉とは、
変化や条件に応じたやわらかい〈考え方・やり方・制度〉のことをいう。
2. [〈人〉が〈何か〉{を・に}]《柔軟に》〈行う：受けとめる・考える・使う・変える・応じるなど〉とは、
[〈人〉が〈何か〉{を・に}] 変化や条件に応じて広い心で〈行う〉ということ。
例：子どもの成長に合わせて柔軟に変えることができる部屋。

(35) 【迅速：じんそく】 ナ形容詞

1. 《迅速な》〈対応・処理・行動など〉とは、
{すぐの・とても速い} 〈対応・処理・行動〉のこと。
例：事故の時は迅速な対応が求められる。
2. [〈人〉が〈何か〉を]《迅速に》〈行う〉とは、
[〈人〉が〈何か〉を] とても短い時間で〈行う〉ということ。
例：彼は優秀なのでその問題を迅速に解決した。

(36) 【傍ら：かたわら】 副詞

1. 〈誰か・何か〉の《傍ら》とは、
〈誰か・何か〉の {そば・横・近く} のこと。
例：私は傍らの少女に話しかけた。ベッドの傍らの椅子。
2. [〈人〉が] [〈何か・誰か〉の]《傍らに》〈どうする：いる・何かを置くなど〉とは、
[〈人〉が] [〈何か・誰か〉の] すぐそばに〈どうする〉ということ。
例：彼はいつも辞書を傍らに置いて本を読む。
3. [〈人〉が] 〈Aする〉《かたわら》〈Bする〉とは、
[〈人〉が] 〈Aする〉 {と同時に・一方で} 〈Bする〉ということ。
例：彼は銀行で働くかたわら、小説を書いていました。

(37) 【かつて】 副詞

1. 《かつての》〈何か〉とは、
むかしの〈何か〉のこと。
例：かつての日本人は、今よりももっと米を食べていました。
2. 《かつて (は)》〈どうだった・どうした〉とは、
むかし (は) 〈どうだった・どうした〉ということ。
例：おとなもかつては子どもだった。その言葉はかつて流行ったけど今はあまり使わない。
3. [〈人〉が]《かつて》〈どうしたことが {ある・ない}〉とは、
今までに〈どうしたことが {ある・ない}〉ということ。
例：私がかつて行ったことのある町。日本人がかつて経験したことの無い大きな地震。

(38) 【予て：かねて】 副詞

- 1a. 《かねての・かねてからの・かねてよりの》〈希望・計画・約束など〉とは、
{以前の・ずっと前からの} 〈希望・計画・約束〉のこと。
例：かねての約束通りこの本を差し上げます。かねてからの念願がかなった。

- 1b. 《かねての・かねてからの・かねてよりの》〈関係・問題など〉とは、
ずっと前から続いている〈関係・問題〉のこと。
例：かねての病気も次第によくなっている。私と彼はかねてからの知り合いです。
- 2a. 《かねて（から）》〈聞いた・知っている・考えていた〉〈何か〉とは、
〔以前に・以前から〕〈聞いた・知っている・考えていた〉〈何か〉のこと。
例：かねて言われたこと。かねてから行きたかった国。
- 2b. 《かねて（から）》〔用意・計画など〕していた〉〈何か〉とは、
〔あらかじめ・事の起こる前に〕〈用意していた・計画していた〉〈何か〉のこと。
例：かねて計画していたとおりに実行した。
3. 《かねて・かねてより・かねてから》、〈S- {ている・てきた}〉とは、
〔以前から・今までずっと〕〈S- {ている・てきた}〉ということ。
例：かねてから、私はこの戦争は間違いだと主張してきた。

(39) 【仮（に）：かり（に）】 副詞・形容詞的な名詞

- 1a. 《仮の》〈何か：名前・数字・場所・処置・歯など〉とは、
その時だけの〈何か〉のこと。
例：これは仮のタイトルで、正式なタイトルはまだ決まっています。
- 1b. 《仮の》〈姿・話など〉とは、
〔本当・実際・現実〕のものではない〈姿・話〉のこと。
例：教師は彼の世を忍ぶ仮の姿。これは仮の話ですが、私が会社を作ったら強力してくれませんか。
2. 《仮に》〈どうする：呼ぶ・入れる・定めるなど〉とは、
〔とりあえず・一応・一時的に〕〈どうする〉ということ。
例：その女の子の名前がわからないので、仮にマリアと呼んでおきましょう。
- 3a. 《仮に》〈S- {なら・だったら・だとすればなど}〉〈S-だ〉とは、
もし〈S- {なら・だったら・だとすればなど}〉〈S-だ〉ということ。
例：仮にこの案が実現したなら、たくさんの人が喜ぶだろう。
- 3b. 《仮に》〈S- {ても・でも}〉〈S-だ〉とは、
たとえ〈S- {ても・でも}〉〈S-だ〉ということ。
例：この案は仮に可能だとしても、ずいぶんお金がかかるだろうね。

(40) 【辛うじて：かろうじて】 副詞

1. 〔〈人〉・〈物事〉が〕《辛うじて》〈どうだ：助かった・できたなど〉とは、
〔〈人〉・〈物事〉が〕やっとのことで〈どうだ〉ということ。
例：彼は、この前の選挙で、かろうじて当選した。
2. 〔〈人〉・〈物事〉が〕《辛うじて》〈どうしている：生きている・残っているなど〉とは、
なんとか〈どうしている〉ということ。
例：この橋は今にも壊れそうだが、かろうじて持ちこたえている。

3. 《辛うじて〈見える・分かる・できるなど〉》〈程度・くらい〉とは、
〔無理をすれば〕なんとか〈見える・分かる・できる〉〈程度・くらい〉のこと。
例：人がいるということが、かろうじて分かる暗さ。辛うじて読める文字。

(41) 【代わる代わる：かわるがわる】 副詞

1. 〔〈人々〉が〕《代わる代わる（に）》〈行う〉とは、
〔〈人々〉が〕〔順番に・交替して〕〔同じ動作を〕〈行う〉ということ。
例：老人たちは代わる代わるその猫を抱いた。
2. 〔〈人〉が〕〈複数の何か〉を《代わる代わる》〈どうする〉とは、
〔〈人〉が〕〈複数の何か〉を〔ひとつずつ〕順に繰り返して〈どうする〉ということ。
例：いろいろな酒を代わる代わる飲むと、飲み過ぎになりますよ。

(42) 【がっかり】 副詞

1. 〈数・量・力など〉が《がっかり》〈落ちる・減る〉とは、
〈数・量・力〉〔急に・激しく〕〈落ちる・減る〉ということ。
例：病気をしてから体力ががっかり落ちてしまった。
- 2a. 〔〈人〉が〕《がっかり（と）〈肩を落とす・うなだれる・膝をつくなど〉》とは、
〔〈人〉が〕失望して力が抜けた様子になるということ。
例：試合に負けて、彼はがっかりと肩を落とした。
- 2b. 〔〈人〉が〕《がっかり〈くる・する・だ〉》とは、
〔〈人〉が〕〔〈何か〉に〕〔失望して力が抜けた状態になる・がっかりする〕ということ。
例：書店でずっと探していた本を見つけたが、値段を見てがっかりきた。
3. 「《がっかり》。」という発話は、
「私は失望して元気がなくなった、がっかりした」という気持ちを〔ひと言で〕いう表現。

(43) 【がっしり】 副詞

1. 《がっしりした》〈体・人・建物など〉とは、
固くて〔丈夫な・壊れにくい〕〈体・人・建物〉のこと。
例：背は低いのが、がっしりした体つきの男性。
2. 〔〈人〉が〕〔〈何か〉を〕《がっしり（と）》〈つかむ・支える・押さえるなど〉とは、
〔〈人〉が〕〔〈何か〉を〕〔動かないように〕しっかりと〈つかむ・支える・押さえる〉ということ。
例：先生は少年が逃げないように、両腕をがっしりとつかんだ。

(44) 【がっちり】 副詞

1. 〔〈人〉が〈物〉を〕《がっちり（と）》〈組む・固めるなど〉とは、
〔〈人〉が〈物〉を〕動かないようにしっかりと〈組む・固める〉ということ。
例：夏休みの予定をがっちり組んだ。
- 2a. 〔〈人〉が〈何か〉を〕《がっちり（と）》〈つかむ・支える・押さえるなど〉とは、
〔〈人〉が〈何か〉を〕〔しっかりと・確実に〕〈つかむ・支える・押さえる〉ということ。
例：彼は客の心をがっしりとつかんだ。

- 2b. [〈人〉が〈誰か〉と]《がっちり(と)》〈握手する〉とは、
[〈人〉が〈誰か〉と] 力強く〈握手する〉ということ。
3. [〈人〉が]《がっちり》〈稼ぐ〉とは、
[〈人〉が] [お金などを] たくさん〈稼ぐ〉ということ。
例：アルバイトでがっちり稼ぐ。
4. 《がっちり(と)した》〈体・人・物事〉とは、
[骨組・造りが] {しっかりした・丈夫な} 〈体・人・物事〉のこと。
例：がっちりした体の男性。がっちりとした橋を作る。

(45) 【元来：がんらい】 副詞

1. 《元来の》〈性質・意味・問題など〉とは、
{もともとの・本来の} 〈性質・意味・問題〉のこと。
例：この言葉の元来の意味を考えてみてください。
- 2a. 《元来》〈人〉が〈持っている〉〈性質・力など〉とは、
〈人〉が生まれつき〈持っている〉〈性質・力〉のこと。
例：子どもが元来持っている能力をのぼす。
- 2b. 《元来》〈人・物事〉に〈ある・備わっている〉〈物・特徴など〉とは、
〈人・物事〉にはじめから〈ある・備わっている〉〈物・特徴〉のこと。
例：日本には元来存在しなかった植物。
- 3a. 《元来》[〈何か〉は]〈どうだ〉とは、
[〈何か〉は] もともと〈どうだ〉ということ。
例：元来、私は怠け者です。
- 3b. [〈何か〉は]《元来(は)》〈どうだった〉とは、
[〈何か〉は] {昔は・始めは} 〈どうだった〉ということ。
例：この建物は元来は有名な教会でした。

(46) 【きちっと】 副詞

1. 《きちっと》〈行う：する・やる・書く・整理する・伝えるなど〉とは、
正しく・まじめに・きちんと〈行う〉ということ。
例：決められたことをきちっとやりなさい。
2. [〈人〉が] [〈何か〉を]《きちっと》〈出す・分ける・守る・理解するなど〉とは、
[〈人〉が] [〈何か〉を] {正確に・きっちり} 〈出す・分ける・守る・理解する〉ということ。
例：彼は髪を七・三にきちっと分けている。
3. 〈時間・量など〉が《きちっと》〈合う・決まる〉とは、
〈時間・量など〉がちょうどぴったり〈合う・決まる〉ということ。
例：私の足にきちっと合う大きさの靴をさがす。
- 4a. 《きちっとした》〈やり方・人など〉とは、
{正しい・まじめな} 〈やり方・人〉のこと。
例：息子にはきちっとした教育を受けさせたい。

- 4b. 《きちっとした》〈形・数字〉とは、
正確な〈形・数字など〉のこと。
例：もう少しきちっとした数字のレポートを出してください。

(47) 【きっかり】 副詞

1. [〈何か〉が] 〈何時〉《きっかりに》〈どうだ〉とは、
[〈何か〉が] 〈何時〉ちょうどに〈どうだ〉ということ。
例：彼は六時きっかりに現れた。
2. 《きっかり》〈何時・何回・何年など〉とは、
{ちょうど・きっちり} 〈何時・何回・何年〉のこと。
3. [〈何か〉が] 《きっかり (と)》〈どうだ：分かれる・決まる・表しているなど〉とは、
[〈何か〉が] {はっきり・くっきり・明確に} 〈どうだ〉ということ。
例：彼は自分の時間と仕事を、きっかり分けていた。

(48) 【きっちり】 副詞

1. [〈人〉が] [〈何か〉を] 《きっちり (と)》〈行う〉とは、
[〈人〉が] [〈何か〉を] {確実に・ちゃんと} 〈行う〉ということ。
例：彼はいつも約束をきっちり守る。
2. [〈人〉が] [〈何か〉を] 《きっちり (と)》〈締める・合わせる・入れるなど〉とは、
[〈人〉が] [〈何か〉を] [間があかないように] ぴったり 〈締める・合わせる・入れる〉と
いうこと。
例：雨が降ってきたので、窓をきっちり閉めた。
3. 《きっちり》〈何時・何回・何年など〉とは、
{ちょうど・きっかり*} 〈何時・何回・何年〉のこと。
例：きっちり3万円支払った。

(49) 【きっぱり】 副詞

1. [〈人〉が] [〈何か〉を] 《きっぱり (と)》〈やめる・別れる・捨てるなど〉とは、
[〈人〉が] [〈何か〉を] {完全に・すっかり} 〈やめる・別れる・捨てる〉ということ。
例：彼はタバコをきっぱりとやめた。
2. [〈人〉が] [〈誰か〉に] 《きっぱり (と)》〈言う・断る・否定するなど〉とは、
[〈人〉が] [〈誰か〉に] [強い意思を示して] はっきり 〈言う・断る・否定する〉と
いうこと。
例：何度も誘われたが、きっぱりと断った。
3. 《きっぱりした》〈態度など〉とは、
自分の意思を {はっきり・明確に} 示した 〈態度〉のこと。
例：私はまだ迷っていたので、きっぱりした態度をとることができなかった。

(50) 【極めて：きわめて】 副詞

1. [〈何か〉は] 《極めて》〈どうだ：重要だ・困難だ・高い・少ない・限られた・似ているな
ど〉とは、
[〈何か〉は] とても・ひじょうに〈どうだ〉ということ。
例：この問題は極めて重要だ。危険性が極めて高い。これはきわめて優れた食品だ。

2. [〈人〉が] [〈何か〉について] 《極めて》〈遺憾だ・残念だ・不満だなど〉と言うと、
[〈人〉が] [〈何か〉について] {たいへん・じつに・ひじょうに} 〈遺憾だ・残念だ・不満だ〉 [と思っている] ということを表す。
例：この事件は極めて {遺憾・残念} だ、と彼は言った。

(51) 【くっきり】 副詞

- 1a. 〈何か〉が《くっきり (と)》〈見える：現れる・浮かぶなど〉とは、
〈何か〉が {鮮やかに・きれいに・はっきりと} 〈見える〉ということ。
例：今日は天気がいいので山がくっきり見える。
- 1b. 〈線・跡などが〉《くっきり (と)》〈つく・残るなど〉とは、
〈線・跡などが〉 {確実に・しっかりと} 〈つく・残る〉ということ。
例：犯人の足跡がくっきりと残っていた。
- 1c. 〈A〉と〈B〉が《くっきり (と)》〈分かれる〉とは、
〈A〉と〈B〉の違いが {明らかに・はっきりと} 〈分かれる〉ということ。
例：冬の天気は、山を境に北と南でくっきり分かります。
2. 〈何か〉が《くっきりする》とは、
〈何か〉 [の特徴・存在] が {目立つようになる・はっきりする} ということ。
例：用紙を変えたら、文字がもっとくっきりするでしょう。

(52) 【ぐっと】 副詞

- 1a. [〈人〉が〈何か〉を] 《ぐっと》〈つかむ・握る・押すなど〉とは、
[〈人〉が〈何か〉に] 瞬間的に力を加えて 〈つかむ・握る・押すなど〉ということ。
例：いきなり肩をぐっとつかまれて驚いた。
- 1b. [〈人〉が〈何か〉を] 《ぐっと》〈飲む・引く・下げるなど〉とは、
[〈人〉が〈何か〉を] {勢いよく・ぐいっと} 〈飲む・引く・下げるなど〉ということ。
例：コップの水をぐっと飲む。
- 1c. 〈人〉が [〈何か〉に] 《ぐっと》〈近づく・寄る・迫るなど〉とは、
〈人・物事〉が [〈何か〉に] {勢いよく・ぐぐっと} 〈近づく〉ということ。
例：花を撮影する時は、ぐっと寄るといい写真が撮れます。
- 1d. [〈人〉が] 《ぐっと》〈こらえる・耐えるなど〉とは、
[〈人〉が] {感情・言葉} を出さないで 〈こらえる・耐える〉ということ。
例：私はとても腹が立ったが、ぐっとこらえた。
- 2a. [〈人〉が〈何か〉に] 《ぐっと来る》とは、
[〈人〉が〈何か〉に] {心が動かされる・感動する} ということ。
例：彼の別れの言葉にグッときました。
- 2b. 〈人〉が [〈言葉・返事など〉に] 《ぐっと詰まる》とは、
〈人〉が [〈言葉・返事〉に] 困って話すことができない状態だということ。
例：急に英語で話しかけられて、私はぐっと詰まってしまった。

- 3a. 〈何か〉が《ぐっと》〈変わる：減る・増える・伸びるなど〉とは、
〈何か〉が {急激に・ぐんと} 〈変わる〉ということ。

例：午後になって気温がぐっと上がった。

- 3b. 〈A (の方)〉が〈B〉より (も) 《ぐっと》〈どうだ〉とは、
〈A (の方)〉が〈B〉より (も) {はるかに・ずっと} 〈どうだ〉ということ。

例：彼の部屋は私の部屋よりもぐっと広い。

(53) 【げっそり】 副詞

1. [〈人〉が] 《げっそり (と)》〈痩せる・頬がこけるなど〉とは、
[〈人〉が] 急激に 〈痩せる〉ということ。

例：彼は病気のせいでげっそり痩せてしまった。

- 2a. [〈人〉が] 〈何か〉に 《げっそりする》とは、
[〈人〉が] 〈何か〉に {失望する・がっかりする} ということ。

例：彼は自分で見に行って、げっそりした顔で戻って来た。

- 2b. [〈人〉が] 〈何か〉で 《げっそり (と) する》とは、
[〈人〉が] 〈何か〉のせいで {元気がない・ぐったりした} 様子だということ。

例：毎日夜中まで仕事をして、皆げっそりとしていた。

3. 「《げっそり》。」という発話*は、
「私は、失望して疲れてしまった、もういやだ。」という気持ちを [ひと言で] いう表現。

例：「また断られたよ。げっそり。」

(54) 【公然：こうぜん】 副詞

1. [〈人〉が〈あること〉を] 《公然と》〈行う・主張する〉とは、
[〈人〉が〈あること〉を] {堂々と・少しも隠さず} 〈行う・主張する〉ということ。

例：禁止されている商売が公然と行われていた。

2. 〈あること〉が《公然の秘密だ》とは、
〈そのこと〉がすでに多くの人々に知られている状況だということ。

例：彼がその事件に関係しているのは公然の秘密だ。

3. 《公然たる》〈事実・行為〉とは、
{堂々とした・隠す必要のない} 〈事実・行為〉のことをいう。

例：街頭デモは公然たる抗議行動だ。

(55) 【ことごとく】 副詞

1. [〈誰か〉が〈何か〉を] 《ことごとく》〈行う：否定する・消し去る・変えてしまうなど〉とは、
[〈誰か〉が〈何か〉を] 少しも残さず全部 〈行う〉ということ。

例：迷惑メールをことごとく排除する。

(56) 【殊に：ことに】 副詞

1. 〈何か〉が《殊に》〈どうだ：良い・目立っている・重要だ〉とは、
〈何か〉がとてもしも 〈どうだ〉ということ。

例：大雪山は殊に有名だ。酒は殊に強いのを選んだ。

2. [〈何か〉において、]《殊に》〈あるもの〉が〈どうだ〉とは、
 [〈何か〉の]なかでも〈あるもの〉が特に〈どうだ〉ということ。
例：三人兄弟で、父は私を殊に可愛がってくれた。

(57) 【さぞ】 副詞

1. 〈誰か〉は《さぞ》〈どうする・どうだ：驚く・喜ぶ・困る・疲れる・辛い・嬉しい・大変・幸せなど〉〈だろう・にちがいないなど〉とは、
 〈誰か〉は {きつと・どんなにか} 〈どうする・どうだ〉〈だろう・にちがいない〉ということ。
例：この話を聞いたら彼はさぞ驚くにちがいない。長い旅でさぞ疲れたでしょう。
2. 〈何か〉は《さぞ》〈美しい・美味しい・立派など〉〈だろう・にちがいない〉とは、
 〈何か〉は {きつと・どんなにか} 〈美しい・美味しい・立派〉〈だろう・にちがいない〉ということ。
例：春になって桜が咲いたら、さぞきれいでしょうね。

(58) 【さっと】 副詞

1. 〈感情・色・光・風など〉が《さっと》〈現れる・変化する・消える〉とは、
 〈感情・色・光・風など〉が {急に・一瞬で} 〈現れる・変化する・消える〉ということ。
例：その時父の顔色がさっと変わった。
2. 〈人〉が《さっと》〈動く：立ち上がる・振り向く・逃げるなど〉とは、
 〈人〉が {すばやく・急に} 〈動く〉ということ。
例：男はさっと立ち上がり、あたりを見た。
- 3a. 〈人〉が〈何か〉を《さっと》〈動かす：開く・引く・取り出すなど〉とは、
 〈人〉が〈何か〉を {勢いよく・一瞬で・すぐに} 〈動かす〉ということ。
例：必要なものをさっと取り出せます。
- 3b. 〈人〉が〈何か〉を《さっと》〈見る・読む〉とは、
 〈人〉が〈何か〉を {すばやく・簡単に} 〈見る・読む〉ということ。
例：数字をさっと見ただけで理解できた。
- 3c. 〈人〉が〈何か〉を《さっと》〈作業する：ゆでる・煮る・洗う・混ぜるなど〉とは、
 〈人〉が〈何か〉を {すばやく・短い時間で} 〈作業する〉ということ。
例：野菜はさっとゆでておく。

(59) 【さほど】 副詞

1. 《さほど》〈どうではない：難しくない・大きくない・悪くないなど〉とは、
 {たいして・あまり} 〈どうではない〉ということ。
例：母はここからさほど離れていないところに住んでいます。
2. 《さほど [の]》〈差・影響・意味など〉は〈ない〉とは、
 特に大きな〈差・影響・意味〉が〈ない〉ということ。
例：5分くらいの遅刻なら、さほど問題はないでしょう。

(60) 【さも】 副詞

1. [〈人〉が] 《さも》 〈嬉しそうに・困ったように・呆れた様子でなど〉 〈行う：言う・笑うなど〉 とは、
 [〈人〉が] {いかにも・見るからに・本当に} 〈嬉しそうに・困ったように・呆れた様子で〉 〈行う〉 ということ。
例：母はさもおかしそうに声を出して笑った。
2. [〈人〉が] 《さも》 〈どうである (かの) ように〉 〈行う：言う・扱うなど〉 とは、
 [〈人〉が] まるで {正しい・重要だ・知っているなど} (かの) ように 〈行う〉 ということ。
例：この本は間違っただけをさも正しいように書いてある。彼は初めて聞いたことでも、さも知っていたかのように話す。
3. 《さもありません》 とは、
 {いかにもありそうだ・当然そうなるだろう} という心情を表す表現。
例：彼が裏切ったと聞いて、さもありませんと思った。

(61) 【強いて：しいて】 副詞

1. [〈人〉が] 《しいて》 〈何か〉 を 〈行う〉 とは、
 [〈人〉が] [難しいとわかっているが] 無理をして 〈何か〉 を 〈行う〉 ということ。
例：私たちは、この山は危険だと言われたが、しいて登った。
2. 〈人〉 が 〈誰か〉 に 《強いて》 〈どう {する・させる}〉 とは、
 〈人〉 が [嫌がっている] 誰か を無理に 〈どう {する・させる}〉 ということ。
例：店の人も客も、その犬を強いて追い払うことはしなかった。
3. 《しいて {言えば・言うなら (ば)}》 〈S-だ〉 とは、
 [言いにくいところを] 無理に言う と 〈S-だ〉 ということ。
例：パリもロンドンも素晴らしかったが、しいて言うならパリの方が好きだ。

(62) 【しょっちゅう】 副詞

- 1a. [〈人〉が] [〈何か〉を] 《しょっちゅう》 〈行う：言う・やる・する・見る・使う・食べる・聞くなど〉 とは、
 [〈人〉が] [〈何か〉を] {いつも・日常的に・何度も} 〈行う〉 ということ。
例：しょっちゅう使うものは取り出しやすいところに置きましょう。
- 1b. [〈人〉が] 《しょっちゅう》 〈どこか・誰か〉 {へ・に} 〈行く・会う・来る・通う〉 とは、
 [〈人〉が] {たびたび・何度も} 〈どこか・誰か〉 {へ・に} 〈行く・会う・来る・通う〉 ということ。
例：母は京都が好きで、しょっちゅう行っている。
2. 〈何か〉 が 《しょっちゅう》 〈ある・出る・起こる・変わるなど〉 とは、
 〈何か〉 が {日常的に・何度も} 〈ある・出る・起こる・変わる〉 ということ。
例：この程度の事故はしょっちゅうありますよ。
3. {〈何か〉・〈S-こと〉} {は・も} 《しょっちゅう (だ)》 とは、
 {〈何か〉・〈S-こと〉} {は・も} {よくあること・いつものこと} (だ) ということ。
例：子どもたちがご飯を食べさせてもらえないこともしょっちゅうでした。

(63) 【じっくり】 副詞

1. [〈人〉が] 《じっくり (と)》 〈行う：考える・見る・読む・聞く・調べる・話し合うなど〉とは、
[時間をかけて心を集中して] 十分に 〈行う〉 ということ。
例：難しい問題なので、あとでじっくり考えてから返事をします。
2. 〈人〉が] 〈何か〉を 《じっくり (と)》 〈待つ・楽しむ・構えるなど〉とは、
[あせらず] 落ち着いて 〈待つ・楽しむ・構える〉 ということ。
例：犯人が現れるのを、ここでじっくり待つことにする。
3. [〈人〉が] 〈何か〉を 《じっくり (と)》 〈煮る・焼く・育てるなど〉とは、
[〈人〉が 〈何か〉を] {ゆっくり・時間をかけて} 〈煮る・焼く・育てる〉 ということ。
例：餅は、弱い火でじっくり焼くとおいしいです。

(64) 【すんなり】 副詞

- 1a. 〈人・物〉が 《すんなり (と)》 〈移動する：入る・通る・進むなど〉とは、
〈人・物〉が {じゃまされずに・調子よく} 〈移動する〉 ということ。
例：いつもは混む道だが今日はすんなり通れた。
- 1b. 〈人〉が 《すんなり (と)》 〈何か〉 {を・が} 〈受け入れる・認める・理解する・出来るなど〉とは、
〈人〉が 〈何か〉を {抵抗なく・簡単に} 〈何か〉 {を・が} 〈受け入れる・認める・理解する・出来る〉 ということ。
例：彼は私の贈り物をすんなり受けとってくれた。
- 1c. 〈ものごと〉が 《すんなり (と)》 〈決まる・終わるなど〉とは、
〈ものごと〉が {反対・問題} がなくすぐに 〈決まる・終わる〉 ということ。
例：家族旅行の行きさきがすんなりと決まった。
2. 《すんなり (と) した》 〈姿・形・手足・首など〉とは、
[女性らしい] {しなやかな・細くて流れるような} 〈姿・形・手足・首〉 のこと。
例：彼女のすんなりと伸びた長い手足が素敵だ。

(65) 【ずばり】 副詞

- 1a. [〈人〉が] 〈何か〉を 《ずばり (と)・ズバリ》 〈言う：指摘する・書く・聞くなど〉とは、
[〈人〉が] [言いにくい] 〈何か〉を、{はっきり (と)・遠慮せずに} 〈言う〉 ということ。
例：今日は思っていることをずばり言ってください。
- 1b. [〈人〉が] 〈何か〉 {を・に} 《ずばり (と)》 〈答える：解決する・斬る・占うなど〉とは、
[〈人〉が] 難しい 〈何か〉 {を・に} 正しく 〈答える〉 ということ。
例：あなたの悩みや不安にずばり答えます。
2. 〈考え・予想など〉が 《ずばり (と)》 〈当たる〉とは、
〈考え・予想など〉がとても正確に 〈当たる〉 ということ。
例：試験問題の予想がずばり当たった。

3. 《そのものずばりの》〈何か〉とは、
それに {ぴったりの・最も当てはまる} 〈何か〉のこと。
例：野菜を育てたいのなら『野菜の育て方』というそのものずばりの本をあげます。

(66) 【ずらっと】 副詞

1. 〈人・物〉が《ずらっと》〈並ぶ・並んでいる〉とは、
同じような特徴を持つ〈[大勢の] 人・[たくさんの] 物〉が {ずらりと・列になって・連なっ
て} 〈並ぶ・並んでいる〉ということ。

(67) 【ずるずる】 副詞

- 1a. 〈人〉が〈何か〉を《ずるずる (と)》〈引きずる〉とは、
〈人〉が〈何か〉を [地面などをこする] 音をたてて 〈引きずる〉ということ。
例：けがした足をずるずると引きずって歩く。
- 1b. 〈人〉が《ずるずる (と)》〈滑る・落ちる・下がるなど〉とは、
〈人〉が足や体を自由に動かせない状態で少しずつ 〈滑る・落ちる・下がる〉ということ。
例：急な山道なのでずるずると滑って降りた。
2. 〈人〉が《ずるずる (と)》〈物事・状態〉を〈続ける・引きずる〉とは、
〈人〉が [良くない] 〈物事・状態〉をそのまま 〈続ける・引きずる〉ということ。
例：このような問題をズルズル引きずってはいけません。
3. 〈約束・時期など〉が《ずるずる (と)》〈遅れる・延びるなど〉とは、
〈約束・時期など〉が少しずつ何度も 〈遅れる・延びる〉ということ。
例：この建物の完成はずるずると遅れています。
4. 〈人〉が〈何か〉を《ずるずる (と)》〈食べる・飲む〉とは、
〈人〉が〈何か〉を [吸い込む] 音をたてて 〈食べる・飲む〉ということ。
例：日本人はうどんやそばをズルズルと食べる。

(68) 【即座に：そくぎに】 副詞

1. 〈人〉が〈何か〉 {を・に・に対して} 《そくぎに》〈行う：答える・理解する・断る・解決す
るなど〉とは、
〈人〉が〈何か〉 {を・に・に対して} その場ですぐに 〈行う〉こと。
例：彼はすべての質問に即座に答えた。

(69) 【恋する：こいする】 動詞

1. 〈人〉が〈誰か〉 {に・を} 《恋する》とは、
〈人〉が〈誰か〉を特別好きになるということ。
例：何度か会話をするうちに彼に恋するようになった。人を恋することの素晴らしさを描い
た物語。
2. 〈何か：地域・趣味など〉に《恋する》とは、
[まるで人に恋するように] 〈何か〉に {憧れる・夢中になる} ということ。
例：フランス映画が好きで、ずっとパリに恋していました。

(70) 【心掛ける：こころがける】 動詞

1. 〈人〉が〈どうする・どうしない〉ように《心掛ける・心掛けている》とは、
 〈人〉が〈どうする・どうしない〉ように {気をつける・(いつも) 努力する} ということ。
例：試験前は風邪をひかないように心掛けなさい。私はできるだけ階段を使うように心掛けている。
- 2a. 〈人〉が〈良い行為：安全運転・節約・挨拶など〉 {を・に} 《心掛ける》とは、
 〈人〉が〈良い行為〉をするように気をつけるということ。
例：私はいつも働き易い環境作りを心掛けている。水の節約に心掛けましょう。
- 2b. 〈人〉が〈良い物事：交通安全・健康生活〉 {を・に} 《心掛ける》とは、
 〈人〉が〈良い物事〉を目指して努力するということ。
例：私はいつも感じのよい服装を心掛けた。

(71) 【志す：こころざす】 動詞

- 1a. 〈人〉が〈職業：医者・作家など〉を《志す》とは、
 〈人〉がその〈職業〉を目指すということ。
例：弟は子どもの頃、政治家を志すと言っていた。
- 1b. 〈人〉が〈研究・学問・芸術など〉 {を・に} 《志す》とは、
 〈人〉が〈研究・学問・芸術〉の高いところを目指すということ。
例：芸術を志す人ならわかってくれるでしょう。
2. 〈人〉が〈行為：留学・受験・独立〉《志す》とは、
 〈人〉が〈何か〉をしようと強く思うということ。
例：独立を志す人が増えている。

(72) 【試みる：こころみる】 動詞

1. 〈誰か〉が〈ある {行為・動作}〉を (しようと) 《試みる》とは、
 〈ある {行為・動作}〉 {を試してみる・の実現に向けて努力する} ということ。
例：さまざまな実験を試みることで事実を明らかにした。その問題を解決しようと試みる。
2. 〈誰か〉が〈新しい {方法・工夫} など〉を《試みる》とは、
 〈誰か〉が〈新しい {方法・工夫}〉を試してみるということ。
例：別のアイデアを試みる。

(73) 【こじれる】 動詞

1. 〈話し合い・関係など〉が《こじれる》とは、
 [人と人との意見が合わず] 〈話し合い・関係〉が悪い方へ進んでしまうということ。
例：夫婦関係がこじれたので裁判所に相談する。
- 2a. 〈病気〉が《こじれる》とは、
 〈病気〉がさらに重くなるということ。
例：風邪がこじれて肺炎になる。
- 2b. 〈問題〉が《こじれる》とは、
 〈問題〉がさらに深くなるということ。
例：民族問題がこじれて争いがおこる。

(74) 【漉す：こす】 動詞

1. 〈人〉が〈[液体状の] 何か〉を〈道具：ざるなど〉で《こす》とは、
〈人〉が〈道具〉を使い、〈[液体状の] 何か〉からそこに含まれる [小さな] かたまりを取り除くということ。

(75) 【こだわる】 動詞

1. 〈人〉が〈何か〉に《こだわる》とは、
〈人〉が〈[それほど重要ではない] 何か〉について、{いつも・いつまでも} 気にすること。

例：小さな失敗にこだわってないで次頑張らしましょう。

2. 〈何か〉に《こだわる》〈人〉とは、
〈何か〉に対して、他の人よりも深く気にする〈人〉のこと。

例：走りにこだわる人におすすめの車です。

(76) 【込める：こめる】 動詞

1. 〈人〉が〈銃など〉に〈玉〉を《込める》とは、
〈人〉が〈銃〉に〈玉〉を詰めるということ。

例：銃に弾丸を2発込めた。

2. 〈人〉が〈何か〉に〈心・気持ち・意味など〉を《込める》とは、
〈人〉が〈何か〉を工夫して〈心・気持ち・意味〉が伝わるようにすること。

例：この歌には恋人への愛が込められている。

(77) 【籠る：こもる】 動詞

1. 〈人〉が〈家など〉に《こもる》とは、
〈誰か〉が〈家〉の中に長い時間いつづけるとのこと。

例：昨日は一日中家に籠って論文を書いていました。

2. 〈気体・熱・においなど〉が〈部屋など〉に《こもる》とは、
〈気体・熱・におい〉が〈部屋〉に溜まっているということ。

例：閉めきっていた部屋には、熱気が籠っていた。

3. 〈音など〉が《こもる》とは、
[何らかの理由で] 〈音〉がはっきりと聞こえない状況だということ。

例：古いピアノを鳴らすと籠もった音がした。

(78) 【凝らす：こらす】 動詞

1. 〈人〉が〈何か〉に《{目・瞳} を凝らす》とは、
〈人〉が〈何か〉を集中してよく見るということ。

例：目を凝らしてじっと見ていると、遠くのほうで小さく光るものがあった。

2. 〈人〉が〈何か〉に《息を凝らす》とは、
〈人〉が〈何か〉に [息を止めるほど] 集中すること。

例：私は息を凝らして受話器を耳に強くあてがった。

3. 〈工夫〉を《凝らした》〈作品など〉とは、
〈工夫〉をたくさん加えた〈作品〉のこと。
例：工夫を凝らした絵画や写真が特に人気がある。

(79) 【懲りる：こりる】 動詞

1. 〈人〉が〈失敗・ひどい経験など〉に《懲りる》とは、
〈人〉が自分の〈失敗・ひどい経験〉を覚えていて、同じことはやらないようにするという
こと。
例：父は株で大損して、さすがに懲りたようです。

(80) 【凝る：こる】 動詞

1. 〈肩・腰など〉が《凝る》とは、
〈肩・腰〉の筋肉がかたくなるということ。
例：長い時間パソコンに向かっていると肩が凝る。
2. [〈人〉が] 〈趣味など〉に《凝る》とは、
[〈人〉が] 〈趣味〉に熱中してそればかりするという事。
例：彼が最近凝っているのは映画鑑賞です。
3. 《凝った》〈作品・料理など〉とは、
十分に工夫された〈作品・料理〉のこと。
例：凝った料理より家庭の味が好き。

(81) 【ごまかす】 動詞

1. [〈人〉が] 〈数量：年齢・金額など〉を《ごまかす》とは、
[〈人〉が] 〈数量〉を正しく {伝えない・払わない} ということ。
例：あの会社は税金をごまかしている。
- 2a. 〈人〉が〈誰か（の目）〉を《ごまかす》とは、
〈人〉が〈誰か〉 {を騙す・に真実を知られないようにする} ということ。
例：国民の目をごまかすための話題作りだった。
- 2b. 《〈自分（の心）〉をごまかす》とは、
{現実・本当のこと} を {見ない・考えない} ようにするということ。
例：自分の心をごまかしては、問題は解決しないよ。
3. 〈人〉が [〈何か〉で] 〈問題・事実・失敗・痛みなど〉を《ごまかす》とは、
〈人〉が [〈何か〉を利用して] 〈問題・事実・失敗・痛み〉を {ちゃんと見ない・無かった
ことにする} ということ。
例：失敗を笑いでごまかさないうで真剣に謝りなさい。

(82) 【遮る：さえぎる】 動詞

1. 〈光・風・熱・音など〉を《遮る》とは、
〈光・風・熱・音〉の流れを止めて届かないようにするという事。
例：庭の木は夏の日差しと冬の強い風を遮ってくれる。

2. 〈誰か〉の〈言葉・話・声など〉を《遮る》とは、
 〈誰か〉の〈言葉・話・声〉途中でやめさせるということ。
例：彼女は私の説明を遮って「もう結構です」と言った。
- 3a. 〈人・物など〉が〈誰か〉の《{行く手・道}を遮る》とは、
 〈人・物〉がじゃまをして〈誰か〉が前に進めない状況だということ。
例：大きな川が行く手を遮ったので仕方なく引き返した。
- 3b. 〈人・物など〉が《視界を遮る》とは、
 〈人・物〉がじゃまになって見えない状況だということ。
例：視界を遮っていた建物がなくなって、遠くの山がよく見える。

(83) 【さえずる】 動詞

1. 〈小鳥〉が《さえずる》とは、
 〈小鳥〉が〔にぎやかに〕鳴くということ。

(84) 【冴える：さえる】 動詞

1. 〈色・光・音・味など〉が《冴える》とは、
 〈色・光・音・味〉が{鮮やかになる・輝く・はっきりする}ということ。
例：気温が下がると紅葉の色がいつそう冴える。
2. 〈感覚・意識：目・耳・頭・脳・勘など〉が《冴える》とは、
 〈感覚・意識〉が{鋭い・はっきりした}状態になるということ。
例：夜になっても目が冴えて眠れない。今日は勘が冴えているので全問正解できそうだ。
3. 〈人〉の〈技・力：演出・推理・腕・判断力など〉が《冴える》とは、
 〈人〉の〈技・力〉が{うまく働く・発揮される}ということ。
例：職人の技が冴える日本料理。
- 4a. 〈状況・状態：天気・成績・株価・気分・色など〉が《冴えない》とは、
 〈状況・状態〉が{はっきりしない・良くない・鈍い}ということ。
例：高い山に登ったのに天気が冴えなくて残念だ。成績が冴えなかった人は、次は頑張ってください。日当たりが悪いと葉の色が冴えない。
- 4b. 《冴えない人》とは、
 {ぱっとしない・鈍い感じの}人のこと。
例：父は有名な役者ですが家では冴えないおじさんです。
- 4c. 〈誰か〉の《{顔色・表情}が冴えない》とは、
 〈誰か〉が{顔の色が良くない・元気がない}ということ。
例：彼は表情が冴えないね、風邪でもひいたのかな。

(85) 【栄える：さかえる】 動詞

1. 〈文化・文明・産業など〉が《栄える》
 〈文化・文明・産業〉が盛んになるということ。
例：ここで栄えた文明はもう残っていない。

2. 〈国・地域など〉が〔〈何か〉{で・として}]《栄える》とは、
〈国・地域〉が〔〈何か〉{で・として}]人々が集まり賑やかになるということ。
例：大阪は古くから商人の町として栄えた。

3. 〈人々・生物など〉が《栄える》とは、
〈人々・生物〉の子孫が増えて強くなるということ。
例：一年の始めに一家が栄えることを祈ります。

(86) 【裂ける：さける】 動詞

- 1a. 〈何か：物・腹・頭・血管・膜・幕・布・壁など〉が《裂ける》とは、
〈何か〉が〔線状の傷が入って〕{切れる・破れる・壊れる}ということ。
例：車のタイヤが裂けてしまったので交換する。脳の血管が裂けて出血する病気。強い風で幕が裂けてしまった。
- 1b. 〈傷・口・穴など〉が《裂ける》とは、
〈傷・口・穴〉が切れて広がるということ。
例：手術の後に激しく動くと傷が裂けてしまいますよ。
- 1c. 〈岩・地面など〉が《裂ける》とは、
〈岩・地面〉が〔線状に〕{割れる・分かれる}ということ。
例：地震の時、ここの地面が二つに裂けたのです。
- 1d. 〈筋肉・木など〉が《裂ける》とは、
〈筋肉・木〉の筋に沿って{切れる・割れる}ということ。
2. 《口が裂けても》〈言えない・言っではいけない〉とは、
{何があっても・絶対に}〈言えない・言っではいけない〉ということ。
例：病気の母にお金が欲しいとは口が裂けても言えなかった。
3. 《胸が裂ける》〈思い〉とは、
とても悲しくて辛い〈思い〉のこと。
例：事故の知らせを胸が裂ける思いで聞いた。

(87) 【捧げる：ささげる】 動詞

1. 〈人〉が〈誰か〉に〈何か〉を《捧げる》とは、
〈人〉が〈誰か〉に心を込めて〈何か〉を差し出すということ。
例：この花を感謝の言葉とともにお母さんに捧げます。
2. [〈人〉が〈神など〉に]《祈りを捧げる》とは、
[〈人〉が〈神〉に]心から祈ること。

(88) 【差し掛かる：さしかかる】 動詞

1. [〈人など〉が]〈場所・位置〉に《差し掛かる》とは、
[〈人など〉が]〈場所・位置〉に{やって来る・近づく}ということ。
例：車がちょうど駅前の交差点に差し掛かったところで電話が鳴った。

2. [〈人〉・〈物事〉が] 〈[ある状況の] 時期〉に《差し掛かる》とは、
 [〈人〉・〈物事〉が] 〈[ある状況の] 時期〉に {なる・近づく} ということ。
例：彼もそろそろ結婚を考える年齢に差し掛かっている。日本はその時大きく変わらなければならぬ時代に差しかかっていた。

(89) 【差し出す：さしだす】 動詞

1. [〈人〉が] 〈物・手など〉を《差し出す》とは、
 [〈人〉が] 〈物・手など〉を相手の {方に出す・前に置く} ということ。
例：記者が意見を求めてマイクを差し出してきた。
2. [〈人〉が] 〈何か〉を〈誰か〉に《差し出す》とは、
 [〈人〉が] 〈何か〉を〈誰か〉に {与える・提供する・勧める} ということ。
例：彼は会社のために自分の財産をすべて差し出した。客にあたたかいコーヒーを差し出した。
3. [〈人〉が] 〈郵便など〉を《差し出す》とは、
 [〈人〉が] 〈郵便〉を送る [手続きをする] ということ。
例：昨日差し出した郵便は、明日には届くと思います。
4. [〈人〉が] 〈誰か〉に] 《{手・右手} を差し出す》とは、
 [〈人〉が] 〈誰か〉に] 握手を求めるということ。
例：部屋に入ると男がにっこり笑って右手を差し出した。

(90) 【差し支える：さしつかえる】 動詞

1. 〈仕事など〉に《差し支える》とは、
 〈仕事〉に悪い影響があるということ。
例：お酒をたくさん飲むと次の日の仕事に差し支える。
2. 〈何か〉 {[をすること] は・で} 《差し支えない》とは、
 〈何か〉 {[をすること] は・で} 問題ないということ。
例：自分で使うためにコピーすることは差し支えないそうだ。メールでも差し支えありません。
3. 《差し支えなければ》〈お願いします〉とは、
 もしよかったら 〈お願いします〉ということ。[依頼する時の丁寧な言い方。]
例：差し支えなければお名前を教えてください。

(91) 【擦る：さする】 動詞

1. [〈人〉が] 〈体など〉を《擦る》とは、
 [〈人〉が] 〈体〉を手で [優しく] こするということ。
例：苦しそうな人の背中を擦ってあげた。

(92) 【授ける：さずける】 動詞

1. 〈神・人など〉が〈人〉に〈力・位・名前・命など〉を《授ける》とは、
 [特別な力を持つ] 〈神・人〉が〈人〉に〈力・位・名前・命〉を与えるということ。
例：国王の権力は神から授けられたものという説。

2. 〈人〉が〈誰か〉に〈洗礼・教育・など〉を《授ける》とは、
〈人〉が〈誰か〉に〈洗礼・教育〉を{行う・与える}ということ。
例：牧師さまにお願いして子供に洗礼を授けていただく。
3. 〈人〉が〈誰か〉に〈知恵・知識・技・方法など〉を《授ける》とは、
〈人〉が〈誰か〉に〈知恵・知識・技・方法〉を{教える・伝える}ということ。
例：先生は私に知識と勇気を授けてくれました。

(93) 【定まる：さだまる】 動詞

1. 〈物事：目標・方向（性）・心・内容など〉が《定まる》とは、
〈物事〉が{[ひとつに] 決まる・はっきりする}ということ。
例：目標が定まったら、後はそれに向かって進むだけ。
2. 〈視線・軸・焦点など〉が《定まる | 定まらない》とは、
〈視線・軸・焦点〉が{[びたりと] 止まる | 絶えず動く}ということ。
例：船の上では揺れて視線が定まらないので酔いやすい。
3. 《定まった》〈何か：値・住居・職業など〉とは、
{決まった・変わらない} 〈何か〉のこと。
例：定まった住居がない人は、本を借りることができない。
4. 《〈制球・コントロールなど〉が定まらない》とは、
〈制球・コントロール〉が乱れるということ。
例：あのピッチャーは、球は速いがコントロールが定まらない。

(94) 【定める：さだめる】 動詞

1. 〈人・団体など〉が〈物事：内容・条件・範囲・関係など〉を《定める》とは、
〈人・団体〉が〈物事〉を明確に[これと]決めるということ。
例：仕事は期限を定めて計画的に行うことが大事だ。
2. 〈人・団体など〉が〈規則・法・制度など〉を《定める》とは、
〈人・団体〉が〈規則・法・制度〉を{作る・設ける}ということ。
例：委員会が重要な規則を定める。
3. 〈法など〉{が・で}〈何か〉を《定める》とは、
〈法〉によって〈何か〉を[正式に]決めておくということ。
例：期限については法律で定められているので必ず守ってください。
4. 〈狙い・照準など〉を《定める》とは、
〈狙い・照準など〉を[びたりと]{つける・合わせる}ということ。
例：狙いを定めて銃をかまえた。
5. 〈覚悟〉を《定める》とは、
〈覚悟〉を{決める・固める}ということ。
例：全てを失っても仲間を救う覚悟を定めた。

(95) 【察する：さっする】 動詞

- 1a. 〈人〉が〈誰か〉の〈気持ち・考え・立場など〉を《察する》とは、
 〈人〉が〈誰か〉の〈気持ち・考え・立場〉を〔思う・理解する〕ということ。
例：あなたのつらいお気持ちを察します。彼は相手の立場を察することができる。
- 1b. 〈人〉が〈気配・空気・事情・状況など〉を《察する》とは、
 〈人〉が〈気配・空気・事情・状況〉を感じて理解するということ。
例：客はその場の空気を察してすぐに帰って行った。
2. 〈人〉が〈危険・意味など〉を《察する》とは、
 〈人〉が〈危険・意味〉〔に気付く・が分かる〕ということ。
例：人々は命の危険を察して逃げてしまった。
3. 〈文章・話の内容・状況など〉から《察する》とは、
 〈文章・話の内容・状況〉から〔推測する・こうではないかと考える〕ということ。
例：会話の内容から察するに、あの二人はおそらく秘密を抱えていますね。

(96) 【悟る：さとる】 動詞

1. 〈人〉が〈物事：事実・意味・理由など〉を《悟る》とは、
 〈人〉が〈物事〉をはっきりと理解するということ。
例：彼は今、現実 is 厳しいということを悟った。
2. 〈人〉に〈何か〉を《悟られる》とは、
 〈人〉に〈何か〉を気付かれるということ。
例：不安な気持ちを敵に悟られないように注意する。

(97) 【裁く：さばく】 動詞

1. [〈人〉が] 〈誰か〉(の行為)を《裁く》とは、
 [〈人〉が] 〈誰か〉(の行為)について、正しいかどうかを判断するということ。
例：私には彼を裁いたり責めたりすることはできません、きっと同じことをしたでしょうから。
- 2a. 〈人・事件など〉が〈裁判・法廷など〉で《裁かれる》とは、
 〈人・事件〉が〈裁判・法廷〉において、罪の有無や重さを判断されるということ。
例：戦争に関係した人たちが東京裁判で裁かれました。
- 2b. 〈人〉が〈ある罪〉で《裁かれる》とは、
 〈人〉が〈その罪〉に当てはまるかどうかを判断されるということ。
例：彼は母親を殺した罪で裁かれることになった。
4. 〈試合〉を《裁く》とは、
 [スポーツの] 〈試合〉で審判をつとめるということ。
例：審判は試合を裁くだけでなく、選手の命も守らなければならない。

(98) 【サボる：さぼる】 動詞

1. 〈人〉が〈行為：仕事・勉強・練習・家事など〉を《サボる》とは、
 〈人〉が〔やらなければならない〕〈行為〉を〔行わない・なまける〕ということ。
例：しばらくピアノの練習をサボっていたので指が動かない。

2. 〈人〉が〈場所など：授業・学校・会社・塾など〉を《サボる》とは、
〈人〉が〔行かなければならない〕〈場所〉に〔行かない・出ない〕ということ。
例：学校をサボって映画を見に行った。

(99) 【彷徨う・さ迷う：さまよう】 動詞

- 1a. 〈人など〉が〈どこか〉を《さまよう》とは、
〈人〉が〈どこか〉を〔迷って〕〔移動し・歩き〕続けるということ。
例：彼は森の中を何時間もさまよっていた。

- 1b. 〈人など〉が〈AとBの間〉を《さまよう》とは、
〈人〉が〈AとBの間〉を行ったり来たりするという事。
例：その頃の私は夢と現実の間をさまよっていたようだ。

2. 〔〈人〉が〕〈視線・目など〉を《さまよわせる》とは、
〔〈人〉が〕〈視線・目〉を落ち着き無くを動かすということ。
例：彼は何かを考えるように視線をさまよわせた。

3. 《〈生死（の境）・死線・死の淵など〉をさまよう》とは、
生きるか死ぬかわからない状態にあるということ。
例：彼は事故にあって1週間生死をさまよいつづけた。

(100) 【さらう】 動詞

- 1a. 〔〈人〉が〕〈子ども・女など〉を《さらう》とは、
〔〈人〉が〕〈子ども・女〉連れ去るということ。
例：鬼が村の娘たちをさらっていった。

- 1b. 〔〈人・物事〉が〕〈何か：話題・賞・注目・人気など〉を《さらう》とは、
〔〈人・物事〉が〕〔価値のある〕〈何か〉を〔奪う・持って行く〕ということ。
例：今年話題をさらったのはこの本です。

2. 〈人・物・声など〉が〈波・風など〉に《さらわれる》とは、
〈人・物・声〉が〈波・風〉に〔流されて・飛ばされて〕しまうということ。
例：船長は皆に「波にさらわれないようしっかり捕まって」と叫んだ。

(101) 【障る：さわる】 動詞

1. 〈何か：体・仕事・傷など〉に《障る》とは、
〈何か〉に悪い影響を与えるということ。
例：睡眠不足は仕事に障ります。

- 2a. 〈何か〉が〈誰か〉の《気に障る》とは、
〈何か〉が〈誰か〉の〔気分を悪くする・気に入らない〕ということ。
例：私の言葉がお気に障ったのならばお許してください。

- 2b. 〈何か〉が〈誰か〉の《〔神経・かん・しゃく〕に障る》とは、
〈何か〉が〈誰か〉をいらいらさせるということ。
例：父のする事全てが母のかんに障るようで、いつも文句を言っている。

- 3a. 〈音・声・言葉など〉が《耳に障る・耳ざわりだ》とは、
その〈音・声・言葉〉を聞くと気分が悪くなるということ。
例：この機械の金属音がうるさくて耳に障るね。
- 3b. 〈人・態度・物など〉が《目に障る・目ざわりだ》とは、
その〈人・態度・物〉を〔見るといらいらする・じゃまだ〕ということ。
例：彼にとって私は目に障る存在なのです。

(102) 【降水：こうすい】 名詞-動詞由来

- 1a. 《降水》とは、
空中の水分が〔雨・雪などになって〕地上に降る〈現象〉のこと。
例：今月はまだ降水が観測されていません。降水確率。
- 1b. 《降水》とは、
雨・雪・あられ・ひょうなどの総称。
例：降水を大型タンクに貯める。降水量。

(103) 【洪水：こうずい】 名詞-動詞由来

- 1a. 《洪水》とは、
〔大雨などの理由で〕川の水が〔増える・あふれる〕〈現象〉のこと。
例：洪水を防ぐためにダムを建設する。
- 1b. 《洪水》とは、
〔大雨などの理由で〕〔地面・田畑・建物など〕が水に〔覆われる・流される〕〈自然災害・水害〉の一種。
例：今年は洪水の影響で、米の値段が上がっている。
2. 〈何か：光・情報・車など〉の《洪水》とは、
〈何か〉がたくさん流れている様子を〔比喩的に〕表す表現。
例：私たちは情報の洪水の中で何を信じてよいのかわからない。

(104) 【国防：こくぼう】 名詞-動詞由来

- 1a. 《国防》とは、
国の安全を敵から守るという〈事柄〉のこと。
例：日本の国防について真剣に考える。
- 1b. 《国防》〔に・を〕〈参加する・貢献する・担当する・任せるなど〉とは、
国を敵から守るための〔行動・作戦・任務など〕〔に・を〕〈参加する・務める・担当する・任せる〉ということ。
例：国民全員が国防に参加するとはどういう意味か。
- 1c. 《国防》〔に・を〕〈貢献する・脅かす・優先するなど〉とは、
国家の〔守り・備え・安全〕〔に・を〕〈貢献する・脅かす・優先する〉ということ。
例：いたずらに他国を刺激することは、わが国の国防を脅かす行為だ。

(105) 【心得：こころえ】 名詞-動詞由来

- 1a. 〈ある行為〉の《心得》とは、
 〈その行為〉をする時に {心得るべき・気をつけるべき} 〈事柄〉のこと。
例：登山の心得を守る。
- 1b. 〈ある {職・立場など}〉の《心得》とは、
 〈その {職・立場} の人が {心得るべき・わかっているべき} 〈事柄〉のこと。
例：人を指導する者の心得についてお話しします。
- 1c. 〈ある役職〉《心得》とは、
 〈その役職〉の代理・補佐をする職のこと。
例：本日付けで課長心得を拝命しました。
2. [〈人〉が] 〈何か〉の《心得がある》とは、
 [〈人〉が] 〈何か〉の {技・知識・心など} を身につけているということ。
例：彼女は茶道・華道の心得があるそうです。

(106) 【逆立ち：さかだち】 名詞-動詞由来

- 1a. 《逆立ち》とは、
 人などが [足を上げて手を地につけて] 逆さに立つ 〈行為〉のこと。
例：私の特技は逆立ちです。
- 1b. 《逆立ち》(の) 〈状態・姿勢など〉とは、
 上と下が逆になった 〈状態・姿勢〉のこと。
例：逆立ちの状態で泳ぐ魚。
- 2a. 〈人・動物〉が《逆立ち (を) する》とは、
 〈人・動物〉が足を上げて手を地につけて立つということ。
例：彼は自転車の上で逆立ちしてみせた。
- 2b. 〈ものごと〉が《逆立ち {する・になる}》とは、
 〈ものごと〉の {上下・前後} が逆になるということ。
例：目的と手段が逆立ちしていますね。
3. 《逆立ち {しても・したって}》〈できない・勝てない・かなわないなど〉とは、
 どんなに頑張っても 〈できない・勝てない・かなわない〉という気持ちを [比喩的に] 表す表現。
例：私がアイドルになんて逆立ちしたってなれないよ。

(107) 【詐欺：さぎ】 名詞-動詞由来

1. 《詐欺》とは、
 〈人〉が [〈誰か〉に] うそをついて損害を与える [違法] 〈行為〉のこと。
例：利用した覚えのない料金を請求する詐欺が多発している。親の死を届けずに年金を受け取ると詐欺になります。
2. 〈何か〉(の) 《詐欺》とは、
 〈何か〉 {に関して・を利用して・を装って} 〈人〉から金品をだまし取る {犯罪行為・事件} のこと。
例：年金詐欺。ネット詐欺。結婚詐欺。

3a. 〈人〉が《詐欺に {あう・引っかかるなど}》とは、
〈人〉が [誰かに] {だまされる・金品をだまし取られる} ということ。
例：詐欺にあったらすぐに警察に届けましょう。

3b. 〈人〉が [〈誰か〉に] 《詐欺を {する・はたらく・行うなど}》とは、
〈人〉が [金品を取る目的で] [〈誰か〉を] だますということ。
例：彼は老人相手に詐欺を働いて捕まった。

(108) 【作：さく】 名詞-動詞由来

1. 《作》とは、
{作る〈行為〉・作った〈もの〉} のこと。
例：作を重ねるごとに良くなった。息子の太郎氏の作による文学碑。
2. [〈誰か〉(の)] [いつ(の)] 《作》とは、
[〈誰か〉(の)] [いつ(の)] {作ったもの・作品} のこと。
例：私の最新作を読んで下さい。この曲はモーツァルト晩年の作です。

(109) 【錯誤：さくご】 名詞-動詞由来

- 1a. [〈誰か〉の] [〈物事〉の] 《錯誤》とは、
[〈誰か〉による] [〈物事〉についての] {間違い・誤りなど} のこと。
例：精神科医療の錯誤と過失が問題になっている。後になって自分の錯誤に気づいたが遅かった。
- 1b. 〈記憶・認識など〉(の) 《錯誤》とは、
〈記憶・認識〉が {事実と違う・一致していない} 〈状況〉のこと。
例：患者には記憶錯誤が見られます。話し合いが失敗に終わったのは認識の錯誤が原因です。
- 1c. 〈法律・言葉など〉の《錯誤》とは、
[〈誰か〉が] 〈法律・言葉〉について {認識が間違っている・誤解している} 〈状況〉のこと。
例：法律の錯誤とは、違法行為を適法だと勘違いしていることを意味します。
2. 《時代錯誤》{の・な} 〈人・考え・行動など〉とは、
{時代遅れの・古い・現代では通用しない} 〈人・考え・行動〉のこと。
例：青年団というと時代錯誤な感じがしますね。
3. [〈人〉が] 《試行錯誤》を {する・繰り返す・重ねるなど} とは、
[〈人〉が] [正しい答えを見つけるために] ある方法を試して失敗し、また別の方法を試すことを {する・繰り返す・重ねる} ということ。
例：彼は試行錯誤を繰り返して、ついにその暗号を解いた。

(110) 【叫び：さけび】 名詞-動詞由来

- 1a. [〈誰か〉の] 《叫び》とは、
[〈誰か〉の] {叫ぶ声・叫び声・大きな声} のこと。
例：突然子どもの大きな叫びが響いた。
- 1b. 〈心・魂〉の《叫び》とは、
〈心・魂〉から訴える強い {気持ち・主張} のこと。
例：この絵を描いた人の心の叫びが伝わってきた。

2a. 〈感情：絶望・抗議・怒りなど〉の《叫び》を{聞く・あげるなど}とは、
〈感情〉を訴える大きな声を{聞く・あげる}ということ。

例：人々は歓喜の叫びを上げる。

2b. 〈感情：絶望・抗議・怒りなど〉の《叫び》を{伝える・受け止めるなど}とは、
〈感情〉を訴える{気持ち・主張}を{伝える・受け止める}ということ。

例：子どもの救いを求める叫びをしっかりと受け止めてください。

(111) 【旧態：きゅうたい】 名詞-形容詞的

1. 《旧態依然 {の・とした・たる}》〈何か：人々・団体・考え・方法・制度など〉とは、
〈何か〉が変化・進歩していないことを[批判的に]いう表現。

例：経営者たちの旧態依然とした考えが問題なのだ。

2. 《旧態》を〈残している・伝えるなど〉とは、
昔の状態・姿を〈残している・伝えるなど〉ということ。

例：この城の門は旧態をよく残している。

3. 《旧態の》〈組織・考え・やり方など〉とは、
昔のままの〈組織・考え・やり方〉のこと。

例：そのような旧態の考えでは通用しません。

(112) 【好意：こうい】 名詞-形容詞的

1. 〈人〉が〈誰か〉に《好意を{持つ・寄せる・抱く}》とは、
〈人〉が〈誰か〉を好きだと思っているということ。

例：彼が私に好意を持ってきているかどうか知りたい。

2. 〈誰か〉の《好意》とは、
〈誰か〉の親切な気持のこと。

例：皆様のご好意に感謝いたします。

3. 〈人〉が〈誰か〉に《好意的だ》とは、
〈人〉が〈誰か〉に[対して]優しいということ。

例：彼は私の父の友人だったので、最初から私に好意的だった。

(113) 【好況：こうきょう】 名詞-形容詞的

1. 〈経済・市場・景気など〉の《好況》とは、
[世の中の金がよく回って]〈経済・市場・景気など〉の調子がよい状態のこと。

例：経済の好況がいつまで続くかはわかりません。

2. 〈世界・国など〉が《好況だ》とは、
〈世界・国〉の景気がよいということ。

例：この時代の日本は好況で、たくさんの人が海外旅行を楽しんだ。

3. 《好況 {時・期}》とは、
景気がよい時期のこと。

例：好況時には土地の値段が上がります。

(114) 【交互：こうご】 名詞-形容詞的

1. 〈A (と) B〉(を)《交互 {に・で}》〈行なう〉とは、
〈A (と) B〉をA B A Bのように順に繰り返して〈行なう〉ということ。
例：男女交互に座ってください。

(115) 【公立：こうりつ】 名詞-形容詞的

1. 《公立》(の)〈学校・病院・図書館など〉とは、
地方公共団体が設立・管理する〈学校・病院・図書館〉のこと。
例：私立の大学ではなく国立・公立の大学に入学したい。

(116) 【効率：こうりつ】 形容詞的な名詞

1. 《効率 {が・の} よい・効率的な》〈方法〉とは、
少しの力で大きな結果が出せる、むだのない〈方法〉のことをいう。
例：もっと効率の良い時間の使い方を考えよう。
2. 《効率よく・効率的に》〈行なう〉とは、
少しの手間で大きな結果が出せるように〈行なう〉ということ。
例：忙しいので効率よく勉強したい。

(117) 【国産：こくさん】 名詞-形容詞的

1. 《国産》(の)〈何か〉とは、
その国で生産された〈何か〉のこと。
例：私はずっと国産車に乗っています。
2. 〈何か〉が《国産だ》とは、
〈何か〉がその国で生産されたということ。
例：この料理の材料はすべて国産です。
3. [〈人〉が]〈何か〉の《国産化》を〈はかる・すすめるなど〉とは、
その国で〈何か〉を生産できるように〈はかる・すすめる〉ということ。
例：自動車の国産化に成功したのはいつですか？

(118) 【国定：こくてい】 名詞-形容詞的

1. 《国定》(の)〈教科書・制度・歴史など〉とは、
国が決定した〈教科書・制度・歴史〉のこと。
例：日本では1947年まで、国定の教科書が使われていた。
2. 《国定公園》とは、
環境大臣が指定し、知事が管理する公園のこと。

(119) 【国有：こくゆう】 名詞-形容詞的

1. 《国有 (の)》〈企業・土地・財産など〉とは、
国が所有し管理している〈企業・土地・財産〉のこと。
例：J Rは以前、国有の企業でした。
2. 〈何か〉の《国有化》とは、
〈何か〉の所有者を、民間から国に変更すること。
例：その国では、石油会社の国有化が検討されている。

(120) 【焦茶：こげちゃ】 名詞-形容詞的

1. 《こげ茶（色）》の〈何か〉とは、
濃い茶色の〈何か〉のこと。
例：彼女の焦げ茶色の長い髪。黒い靴とこげ茶の靴。

(121) 【個々：ここ】 名詞-形容詞的

1. 《個々》の〈人・物事など〉とは、
〔複数の〕〈人・物事〉のそれぞれのことをいう。
例：個々の場合についての調査と対応が必要である。
2. 《個々人》とは、
ひとりひとりのこと。
例：それは国が決めるのではなく個々人が自由に判断すればよい。
- 3a. 〈人々〉が《個々 {に・で}》〈どうする・どうだ〉とは、
〈人々〉がそれぞれ別々に〈どうする・どうだ〉ということ。
例：最初はグループでしたが、今は個々に活躍しています。
- 3b. [〈人〉が] 〈何か〉 {を・について} 《個々に》〈行なう〉とは、
[〈人〉が] [〈複数の〉何か] それぞれ {を・について} 〈行なう〉ということ。
例：たくさんの被害について個々に計算するのは困難だ。

(122) 【個別：こべつ】 名詞-形容詞的

1. 《個別（の）》〈何か〉とは、
それぞれ別々の〈何か〉のこと。
例：学生たちに個別（の）指導を行った。
2. [〈人〉が] 《個別（的）に》〈何か〉を〈行う・扱うなど〉とは、
〈何か〉をそれぞれ別々に〈行う・扱う〉ということ。
例：たくさんの荷物を個別に送りました。
- 3a. 〈何か〉を《個別化する》とは、
〈何か〉を別々のものとして扱うということ。
例：病気の研究には一般化が必要だが、患者は個別化することが必要だ。
- 3b. 〈何か〉が《個別的だ》とは、
〔複数の〕〈何か〉それぞれが独立しているということ。
例：問題はとても複雑で個別的なので、ひとつずつ解決していきましょう。
- 3c. 〈何か〉の《個別性》とは、
〈何か〉の他のものとは異なる性質のことをいう。
例：この学校では、生徒たちの個別性、その人らしさを大切にします。

(123) 【根底：こんてい】 名詞-形容詞的

- 1a. 〈何か：社会・意識など〉の《根底》とは、
〈何か〉の底の部分のこと。
例：社会の根底を支えているひとたち。

- 1b. 〈何か：考え方・文化など〉の《根底》とは、
 〈何か〉の基本・基礎のこと。
例：あなたとは考え方の根底が違うようだ。
2. 〈何か〉が〈あること〉を《根底から》〈変える：覆す・否定する・壊すなど〉とは、
 〈何か〉が〈あること〉を完全に〈変える〉ということ。
例：新しい技術が世の中の常識を根底から変えてしまった。
3. 〈制度・行動など〉の《根底にあるのは〈考え方・事柄など〉だ》とは、
 〈ある考え方・事柄〉が〈制度・行動〉{に大きな影響を与えている・の要因である} とい
 うこと。
例：この作品の根底にあるのは人間愛です。

(124) 【根本：こんぽん】 名詞-形容詞的

1. 〈何か〉の《根本》とは、
 〈何か〉の基礎になっている重要な部分のことをいう。
例：この争いの根本にあるのは文化のちがいである。
- 2a. 《根本的（な）・根本の》〈何か：問題・原因・考え方・変化・違いなど〉とは、
 {基本的な・重要な} 〈何か〉のこと。
例：今年も優勝できなかった、根本的な原因は何だと思えますか。
- 2b. 《根本的（な）》〈解決・対策・治療など〉とは、
 [一時的・表面的ではない] 本当に効果がある〈解決・対策・治療〉のことをいう。
例：昔の法律を少し修正する程度では、根本的な解決にはなりません。
- 3a. 〈何か〉が《根本的に・根本から》〈違う〉とは、
 〈何か〉が全く〈違う〉ということ。
例：私が今まで聞いていた話と、根本から違うようです。
- 3b. 〈人〉が〈何か〉を《根本的に・根本から》〈変える・やり直すなど〉とは、
 〈人〉が〈何か〉を {すっかり・一から全て} 〈変える〉ということ。
例：考え方を根本から見直す必要がある。
4. 〈あること〉が〈何か〉{の・にとって}《根本に関わる {こと・問題} だ》とは、
 〈あること〉が〈何か〉にとっても重要な影響を与えるということ。
例：学級の人数というのは、学習指導にとって根本にかかわる問題です。

(125) 【工学：こうがく】 名詞-階層で示す

1. 《工学》とは、
 〈学問〉の分野のひとつ。数学・化学・物理学などの基礎科学を、様々な分野の {技術・設
 計・生産・評価など} に応用する〈学問〉のこと。
例：工学研究科。工学博士。機械工学。人間工学。金融工学。情報工学。
2. 《工学的（な）》〈手法・応用・研究・技術〉とは、
 数学・化学・物理学などの基礎科学に基づく〈手法・応用・研究・技術〉のこと。
例：事故の予防について、工学的アプローチによる研究を行っています。

(126) 【鉱業：こうぎょう】 名詞-階層で示す

1. 《鉱業》とは、
〈産業・事業〉の一種。地下の天然資源から、鉱物（石油・石炭・ガス・鉄・金・硫黄など）を取り出す〈産業・事業〉のこと。
例：今後の鉱業の発展は、海洋資源の開発にかかっている。

(127) 【考古学：こうこがく】 名詞-階層で示す

1. 《考古学》とは、
〈学問〉の分野のひとつ。[{遺跡・人類が生活した跡} や {遺物・人類が残した物} を調べて] 古い時代の生活や文化を研究する〈学問〉のこと。
例：考古学の研究者。

(128) 【香辛料：こうしんりょう】 名詞-階層で示す

1. 《香辛料》とは、
[{臭みを消す・香りを付ける・着色するなど} のために] 料理に加える香や辛味のある食用植物の総称。{スパイス・薬味} ともいう。コショウ、唐辛子、ネギ、ショウガ、わさび、シナモンなどが含まれる。
例：豚肉の料理にはどんな香辛料を使っていますか。

(129) 【光熱費：こうねつひ】 名詞-階層で示す

1. 《光熱費》とは、
生活に必要な〈費用〉の種類のひとつ。電気料金・ガス料金・灯油代などの総称。
例：今月の我が家の光熱費は1万円かかりました。

(130) 【古代：こだい】 名詞-階層で示す

1. 《古代》とは、
[歴史の] 〈時代〉の区分のひとつ。原始時代と中世との間の〈時代〉のこと。
例：古代の人々の信仰について研究している。

(131) 【事柄：ことがら】 名詞-階層で示す

1. 《事柄》とは、
物事・事象・事件などの総称。
例：すべての事柄には意味がある。

(132) 【昆虫：こんちゅう】 名詞-階層で示す

1. 《昆虫》とは、
〈虫〉の分類のひとつ。頭・胸・腹・6本の足を持つ〈虫〉のこと。チョウ・アリ・セミなどが含まれる。
例：森の中で昆虫を観察する。

(133) 【語彙：ごい】 名詞-階層で示す

1. 《語彙》とは、
[ある体系の中の] {語・語の集合} のこと。
例：新しい語彙を習得する。基本語彙のリスト。

- 2a. 〈分野・言語・本など〉の《語彙》とは、
 〈分野・言語・本〉で使われている語の全体のこと。
例：日本語の語彙と文法。万葉集の語彙。
- 2b. 〈ある人〉の《語彙》とは、
 〈その人〉が知っていて使うことができる語の {数・全体} のこと。
例：子どもの語彙を増やす。彼は語彙が豊富だ。
- 3a. 《〈X〉という語彙》とは、
 〈X〉という語そのものを指し示す表現。
例：「哲学」という語彙は誰が最初に使いましたか？
- 3b. 《語彙力》とは、
 [ある言語について] 単語を理解して正しく使う能力のこと。
例：英語の語彙力をつけたい。

(134) 【語句：ごく】 名詞-階層で示す

1. 《語句》とは、
 〈言語〉の単位のひとつ。{語・単語} と {句・単語のかたまり} のこと。
例：語句で検索する。英語の文法と語句を勉強する。
2. 〈何か・誰か〉の《語句》とは、
 〈何か・誰か〉の言葉そのもののこと。
例：聖書の語句を引用する。批判の語句を並べる。

(135) 【交易：こうえき】 名詞スル

1. 〈ある {国・地域}〉が〈他の {国・地域}〉と《交易 (を) する》とは、
 〈ある {国・地域}〉が〈他の {国・地域}〉と品物を運んで売買するということ。
例：日本は昔からオランダや中国と交易していた。
2. 〈ある地域の人々〉が [〈他の地域の人々〉と] 〈品物〉を《交易する》とは、
 〈ある地域の人々〉が〈他の地域の人々〉に〈品物〉を運んで商売するということ。
例：日本人は昔から、様々な海産物を広範囲に交易してきた。
- 3a. 〈品物〉(の)《交易》とは、
 〈品物〉を他の地域の人々と売買すること。
例：この都市は塩の交易で栄えた。毛皮交易の歴史を調べる。
- 3b. 〈地域 A〉〈地域 B〉《交易》とは、
 〈地域 A〉と〈地域 B〉が [互いの] 品物を運んで売買すること。
例：東西交易。日中交易。
- 3c. 《交易》〈路・ルートなど〉とは、
 売買する品物を運ぶ〈路・ルート〉のこと。
4. 《海上交易》とは、
 船で品物を運ぶ貿易のこと。

(136) 【公演：こうえん】 名詞スル

- 1a. 〈人・団体〉が〈芸能：劇・踊り・音楽など〉{を・の}《公演（を）する》とは、
 〈人・団体〉が〈芸能〉を人々に{見せる・聞かせる}ということ。
例：劇団Aは子どものための芝居を公演している。
- 1b. 〈人・団体〉が[〈ある時に〉][〈ある場所で〉]〈劇・踊り・音楽など〉の《公演》を〈行う・開催するなど〉とは、
 〈人・団体〉が[〈ある時に〉][〈ある場所で〉]〈劇・踊り・音楽〉の{発表会・コンサート}を〈行う・開催する〉ということ。
例：彼らは毎年海外で和太鼓の公演を行っている。
- 2a. [〈人〉が][〈ある時の〉][〈ある場所の〉]《公演》に〈行く・参加する・出るなど〉とは、
 [〈人〉が][〈ある時の〉][〈ある場所の〉]{発表会・コンサート}に〈行く・参加する・出る〉ということ。
例：私たちは東京の公演に行きました。彼は病気のため本日の公演には出られません。
- 2b. [〈人〉が]《公演》を〈見る・楽しむなど〉とは、
 [〈人〉が]{発表会・コンサート}[の内容：演技・演奏・作品]を〈見る・楽しむ〉ということ。
例：有名な指揮者による記念公演を大画面テレビで楽しんだ。
- 3a. 〈誰か〉(の)《公演》とは、
 〈誰か〉が{出演する・出る}{発表会・コンサート}のこと。
例：新人(の)公演が楽しみだ。
- 3b. 〈芸能：劇・踊り・音楽など〉(の)《公演》とは、
 〈芸能〉を{見せる・聞かせる}{発表会・コンサート}のこと。
例：オペラ(の)公演のポスター。
- 3c. 〈ある場所〉(の)《公演》とは、
 〈ある場所〉で行われる{発表会・コンサート}のこと。
例：海外(の)公演は成功だった。

(137) 【公開：こうかい】 名詞スル

- 1a. [〈何か〉の]〈情報など〉を《公開する》とは、
 [〈何か〉の]〈情報〉を誰でも{見る・知る・利用する}ことができるようにするという
 こと。
例：あなたの名前と写真を公開してもいいですか。
- 1b. 〈場所・行事など〉を《公開する》とは、
 〈場所・行事〉に〈人々〉が{入る・観る・出席するなど}ことができるようにするとい
 うこと。
例：日曜日は建物の中も公開されているそうだ。この講演会は一般の人に公開されている。
2. 《株式（を）公開（する）》とは、
 その株を市場で売買できるようにする(という)こと。
例：我が社は近い将来、株式公開を考えています。

(138) 【後悔：こうかい】 名詞スル

1. 〈人〉が《後悔（を）する》とは、
 〈人〉が〔自分の行い {を・について}〕〔失敗した・残念だ〕と思うということ。
例：私は傘を持ってこなかったことを後悔している。彼女は決して後悔をしない。
2. 《後悔》が {ある・ない・残るなど} とは、
 {失敗した・残念だ} という気持ちが {ある・ない・残る} ということ。
例：今やらなければ後悔が残りますよ。その決断に後悔はありません。
3. 《後悔の念》とは、
 {失敗した・残念だ} という強い気持ちのこと。
例：あの日のことを思い出すと後悔の念に苦しめられる。

(139) 【航海：こうかい】 名詞スル

1. 《航海》とは、
 船の旅のこと。
例：順調に航海を続けています。航海の安全を祈る。
- 2a. 〈船〉が〔海を〕《航海する》とは、
 〈船〉が海の上を移動すること。
例：海図は船が安全に航海するために必要だ。
- 2b. 〈人〉が〔〈船〉で〕〔海を〕《航海（を）する》とは、
 〈人〉が〈船〉に乗って海（の上）を {移動する・渡る}（という）こと。
例：彼はヨットで太平洋を航海した。

(140) 【抗議：こうぎ】 名詞スル

- 1a. 〈人・団体〉が〈何か〉に《抗議（を）する》とは、
 〈人・団体〉が〈何か〉について反対するということ。
例：彼らはクジラを食べることに抗議している。政府の決定に断固抗議する。
- 1b. 〈人・団体〉が〔〈何か〉 {を・で・について}〕〔[他の] 人・団体〕 {に・へ} 《抗議（を）する》とは、
 〈誰か〉が〔〈何か〉について〕〈団体・組織・人〉 {を・に} {考え・行為} を改めるよう求めるということ。
例：被害者の家族は出版社に強く抗議した。
- 2a. 〔〈何か〉に対する〕《抗議》の〈言葉：声・電話・手紙など〉とは、
 〔〈何か〉に〕反対する {意見・主張} を伝える〈言葉〉のこと。
例：学校の強引なやり方に生徒たちは抗議の声を上げた。
- 2b. 〔〈何か〉に対する〕《抗議》(の) 〈行動・集会など〉とは、
 〔〈何か〉に〕反対する {意見・主張} を示すための〈行動・集会〉のこと。
例：抗議のデモ。抗議の座り込み。抗議集会。
3. 《抗議》を {行う・申し入れる・受ける・受け入れるなど} とは、
 {反対の意見・変更の要求} を {行う・申し入れる・受ける・受け入れる} ということ。
例：会社に抗議を行ったが返事はなかった。

(141) 【工作：こうさく】 名詞スル

- 1a. 〈人〉が〔〈材料：木・紙など〉で〕〈物：模型・装置など〉{を・の}《工作（を）する》とは、
 〈人〉が〔〈材料〉で〕〔工夫して〕〈物〉を作るということ。
例：夏休みの宿題は、ペットボトルでおもちゃを工作することです。
- 1b. 〈人〉が〈物・状況・情報など〉{に・を}《工作（を）する》とは、
 〈人〉が〈物・状況・情報〉{に・を}〔計画的に・ある目的のために〕{加工する・手を加える・変える}ということ。
例：この自転車はブレーキがきかないように工作してある。彼は税金をごまかすために領収書を工作した。誰かが殺人事件の証拠を工作した。
- 2a. 《工作》とは、
 物を{作る・加工する・目的に合った形に変える}こと。
例：私の趣味は読書と工作です。工作機械。
- 2b. 〔〈誰か〉の〕《工作》とは、
 〈誰か〉が作ったものこと。
例：この本箱は弟の夏休みの工作です。
- 2c. 〈目的：和平・破壊・宣伝・妨害など〉《工作》とは、
 〈目的〉に向けた〔他者への〕{はたらきかけ・活動}のこと。
例：強気な発言の裏で、ひそかに和平工作が続けられていた。
- 3a. 《アリバイ工作》とは、
 [その場に]居なかったのに、居たように見せかけることをいう。
例：彼のアリバイ工作に協力するよう頼まれた。
- 3b. 《工作〈員・隊・船など〉》とは、
 敵の中に入ってひそかに活動する〈員・隊・船〉のこと。
例：彼はA国の工作員ではないかと疑われている。

(142) 【耕作：こうさく】 名詞スル

- 1a. 〈人〉が〈土地・畑・田など〉を《耕作する》とは、
 〈人〉がその〈土地・畑・田〉を耕して作物を育てるということ。
- 1b. 〈人〉が〈作物：米・野菜など〉を《耕作する》とは、
 〈人〉が〈作物〉を育てるということ。
例：この町では、ほとんどの農家がキャベツを耕作している。
2. 〈土地・農地など〉の《耕作》とは、
 〈土地・農地〉で作物を育てること。
例：山奥の村では、農地の耕作をやめる人が増えた。

(143) 【講習：こうしゅう】 名詞スル

1. 〈知識・技術など〉の《講習（会）》とは、
 [希望する人々を集めて]〈知識・技術など〉について教える会合のこと。
例：ピアノの講習会

2. 〈誰か〉が〈知識・技術など〉について〈人々〉に《講習する》とは、
〔講習（会）に参加した〈人々〉に〕〈誰か〉が〈知識・技術など〉について教えるということ。

例：看護師さんがお母さんたちにオムツの替え方を講習してくれた。

3. 〈人〉が〈知識・技術など〉について《講習を受ける》とは、
講習（会）に参加して〈知識・技術など〉について学ぶということ。

例：彼は昨年自動車免許の講習を受けた。

(144) 【行進：こうしん】 名詞スル

1. 〈人々〉が〈場所：街・通り・地名など〉を《行進する》とは、
〔たくさんの〕人々が〔列を作って〕〈場所〉を進むということ。

例：1万人の学生たちが市内を行進して平和を訴えた。

2. 《デモ行進》とは、
団体で〔デモンストレーション・主張〕するために通りなどを進むこと。

例：私は明日のデモ行進に参加します。

(145) 【口述：こうじゅつ】 名詞スル

1. 〈人〉が〈誰か〉に〈内容・趣旨・言葉など〉を《口述（を）する》とは、
〈人〉が〈誰か〉に〔声に出して〕説明する・話すということ。

例：遺言者が遺言の内容を口述し、公証人がそれを筆記する。

- 2a. 《口述で》〈伝える・録音するなど〉とは、
〔声に出して・読み上げて〕〈伝える・録音する〉ということ。

例：昔から大切な事はすべて口述で伝えられてきた。口述試験。

- 2b. 《口述》を〈筆記する・まとめるなど〉とは、
〔声に出した〕言葉・話した内容などを〈筆記する・まとめるなど〉ということ。

例：これは先生の口述をまとめた本です。口述筆記。

(146) 【控除：こうじょ】 名詞スル

1. [〈人〉が] [〈金額・数量〉から] [〈ある〉金額・数量]を《控除する》とは、
[〈人〉が] [〈金額・数量〉から] 〈ある金額・数量〉を〔差し引く・減らす〕ということ。

例：給料は、規定の金額から、遅刻した時間の賃金を控除して支払われる。

- 2a. 〈所得・税金・税額・給料など〉(の)《控除》とは、
〈所得・税金・税額・給料〉を〔減額する・減らす〕こと。

例：がん保険は所得控除の対象です。多額の医療費を支払った場合は、税金の控除を受けられません。寄付金で税額控除が受けられますか。

- 2b. 〈経費：医療費・保険・年金など〉(の)《控除》とは、
〔税金を計算するための〕所得の金額から〈経費〉を〔減額する・引く〕こと。

例：この場合、住宅ローンの控除が認められますよ。

- 2c. 〈条件：扶養・ローンなど〉(の)《控除》とは、
〈条件〉で〔税金を計算するための〕所得の金額が〔減額される・減る〕〔こと・制度〕。

例：働いている学生は、勤労学生控除が受けられます。住宅ローンの控除を適用できる。

(147) 【向上：こうじょう】 名詞スル

- 1a. [〈何か〉の] 〈質・性能・能力・意識・地位など〉が《向上する》とは、
[〈何か〉の] 〈質・性能・能力・意識・地位〉が {上がる・高くなる} ということ。
例：この装置によって船の安全性が大幅に向上した。コミュニケーション能力を向上させる。
- 1b. 〈ものごと：技術・サービス・制度など〉が《向上する》とは、
〈ものごと〉 [の質・程度など] が {高くなる・良くなる} ということ。
例：検査技術が向上したので、早期がんを発見できるようになった。
- 1c. 〈人〉が《向上する》とは、
〈人〉が {進歩する・成長する} ということ。
例：人間が精神的に向上するのに必要なもの。高い目標に向かって自分をさらに向上させたい。
- 2a. 〈質・性能・能力・意識・地位など〉 (の) 《向上》とは、
〈質・性能・能力・意識・地位〉 {が|を} {上がる|上げる} こと。
例：この訓練は記憶力の向上に効果があります。
- 2b. 〈ものごと〉 (の) 《向上》とは、
〈ものごと〉 [の質・評価] {が|を} {良くなる|良くする} こと。
例：我々は一層のサービス向上に努めます。
3. 《向上心》とは、
現状より進歩しようとする心のこと。
例：向上心のない人は成長しないと思う。

(148) 【抗争：こうそう】 名詞スル

1. 〈組織 A〉が〈組織 B〉と《抗争 (を) する》とは、
〈組織 A〉が〈組織 B〉と対立して争うということ。
例：当時その国は周辺の国と抗争していた。
2. 〈組織〉 {同士・間・と 〈組織〉} の《抗争》とは、
〈組織〉 {同士・間・と 〈組織〉} で {対立する・争う} こと。
例：この街では、暴力団同士の抗争が続いている。

(149) 【構想：こうそう】 名詞スル

- 1a. 〈人・組織など〉が [〈抽象的な〉 何か：未来・社会・あり方・モデルなど] を《構想する》とは、
〈人・組織〉が [〈抽象的な〉 何か] を思い描くということ。
例：より良い社会を構想する。
- 1b. 〈人〉が 〈何か：計画・システム・作品・策など〉 {を・の} 《構想 (を) する》とは、
〈人〉が 〈何か〉 の {内容・筋・構成など} を {考える・決める} ということ。
例：新たな経済政策を構想するべきだ。
- 2a. [〈何か〉 (の)] 《構想》とは、
[〈何か〉 (の)] {計画・立案} のこと。
例：新しい図書館建設の構想。構想に 10 年かかった。

- 2b. 〈計画・作品・論文など〉の《構想》とは、
〈計画・作品・論文〉の{内容・筋・構成など}のこと。
例：A市の将来計画の構想が発表された。作家は次の作品の構想について語った。

(150) 【後退：こうたい】 名詞スル

- 1a. 〈何か：人・物・境界線など〉が《後退する》とは、
〈何か〉の位置がうしろへ動くということ。
例：髪の生え際が後退してきた。道が行き止まりになったので車を後退させた。
- 1b. 〈ものごと〉が《後退する》とは、
〈ものごと〉が良くない方向へ進むということ。
例：日本経済がさらに後退することを心配している。投資意欲がますます後退した。
- 2a. 〈物・境界線など〉(の)《後退》とは、
〈物・境界線〉{が・を}{後ろへ・遠くへ}{さがる・さげる}こと。
例：氷河の後退を調査している。この場所で家を建てるには壁面後退が必要です。
- 2b. 〈景気・経済など〉(の)《後退》とは、
〈景気・経済〉が{下降する・悪くなる}こと。
例：景気の後退により、仕事を失う人が増えている。
- 2c. 〈力・質・量・勢いなど〉(の)《後退》とは、
〈力・質・量・勢い〉が{衰える・弱くなる・落ちる}こと。
例：生産力の後退は明らかだ。業績後退の責任を取る。
- 2d. 〈制度・サービス・政策など〉(の)《後退》とは、
〈制度・サービス・政策〉が{縮小・低下}すること。
例：その政策は、地域医療サービスの後退につながる。
- 2e. 〈活動・運動・感情・主義など〉(の)《後退》とは、
〈活動・運動・感情・主義〉が{消極的になる・低下する}こと。
例：市民運動の後退を心配している。民主主義の後退。

(151) 【講読：こうどく】 名詞スル

1. 〈文章・資料・作品など〉を《講読する》とは、
〈文章・資料・作品〉を読んでその内容を明らかにすること。
例：心理学の基本文献を講読する。
- 2a. 〈文章・資料・作品など〉の《講読》とは、
〈文章・資料・作品〉を読んでその内容を明らかにすること。
例：学生が集まって論文の講読や討論を行う。
- 2b. 〈文献・作品・言語など〉(の)《講読》とは、
〈文献・作品・言語〉[のテキスト]を用いた授業のこと。
例：彼は週に一度源氏物語の講読をする。

(152) 【購読：こうどく】 名詞スル

1. 〈人〉が〈新聞・雑誌・記事・論文・ブログなど〉を《購読する》とは、
〈人〉が〈新聞・雑誌・記事・論文・ブログ〉を〔継続して〕〔買って〕〔契約して〕読むと
いうこと。

例：2年前から A 新聞を購読しています。Web 版は利用者登録をすれば無料で購読できます。

- 2a. 〈新聞・雑誌・記事・論文・ブログなど〉の《購読》とは、
〈新聞・雑誌・記事・論文・ブログ〉を〔継続して〕〔契約して〕読むこと。

例：新聞の年間購読を申し込むと 1 か月無料になります。

- 2b. 〈新聞・雑誌など〉の《購読》を〔受け付ける・取り消すなど〕とは、
〈新聞・雑誌〉の契約を〔受け付ける・取り消す〕こと。

例：購読を取り消す方法を教えてください。

(153) 【購入：こうにゆう】 名詞スル

1. 〈人〉が〈商品・サービス・権利など〉を《購入する》とは、
〈人〉が〈商品・サービス・権利〉を〔[お金を払って] 手に入れる・買う〕ということ。

例：私はインターネット書店でその本を購入した。

2. 〈商品・サービスなど〉(の)《購入》とは、
〈商品・サービス〉を買うこと。

例：車の購入を考えています。住宅購入の相談。

(154) 【公認：こうにん】 名詞スル

1. 〈組織・機関など〉が〈人・資格・ものごとなど〉を《公認する》とは、
〈組織・機関〉が、〈人・資格・ものごと〉を〔正統だ・正しい・正式だ〕と認めるというこ
と。

例：その党は選挙区 A で二人の候補者を公認している。その記録は世界新記録として公認さ
れた。

2. [〈組織・機関など〉の]《公認》を〔受ける・得る・与える・取り消すなど〕とは、
[〈組織・機関など〉の]〔正式な〕〔承認・許可〕を〔受ける・得る・与える・取り消す〕と
いうこと。

例：協会の公認を受けた団体には補助金がでます。一旦公認された学校でも、公認を取り消
されることがある。

- 3a. 《公認》(の)〈施設・資格・記録〉とは、
〔国・組織などが〕認めた〈施設・資格・記録〉のこと。

例：娘は政府公認の学校に通っている。政府公認の資格があると就職に有利です。

- 3b. 《公認》の〈関係・仲〉とは、
〔周囲の〕人々が認める特別な〈関係・仲〉のこと。

例：二人はすでに両方の親公認の仲です。

(155) 【荒廃：こうはい】 名詞スル

- 1a. 〈場所：森・土地・地域・施設など〉が《荒廃する》とは、
〈場所〉が本来の〔姿・機能など〕を失って荒れた状態になるということ。

例：手入れされない山林はすっかり荒廃していた。戦後の荒廃した東京を覚えています。

- 1b. 〈組織・社会・制度・精神など〉が《荒廃する》とは、
 〈組織・社会・精神〉が、{機能・秩序・余裕など} を失って荒れた状態になるということ。
例：校内暴力やいじめなど、学校教育の荒廃が問題だと言われている。
- 2a. 〈場所・物事〉の《荒廃》とは、
 〈場所・物事〉が荒れて本来の {姿・機能など} を失った状態のこと。
例：森林の荒廃は思ったよりひどかった。
- 2b. 〈精神・人の心など〉の《荒廃》とは、
 〈精神・人の心〉が {余裕・人間らしさ} を失った状態のこと。
例：経済が豊かになっても、心の荒廃は進む一方だ。

(156) 【購買：こうばい】 名詞スル

- 1a. 《購買》とは、
 金を払って商品・サービスなどを {手に入れる・利用する} という {行動・経済活動} のこと。
例：お客様に商品の使い易さを伝えて購買につなげたい。
- 1b. 〈誰か〉の《購買》{力・意欲・心理など} とは、
 〈誰か〉の物を買うという行動の {力・意欲・心理} のこと。
例：税金を上げると国民の購買力が低下して景気が悪くなる。
- 1c. 〈組織〉の《購買》{部門・業務・担当など} とは、
 〈組織〉の [材料などを] {買う・調達する} {部門・業務・担当} のこと。
例：私、A社の購買担当の鈴木と申します。
- 1d. 〈病院・学校など〉の《購買》とは、
 〈病院・学校〉にある売店のこと。
例：洗面器は病院の購買で買えます。
2. [〈会社・組織・消費者・客など〉が] 〈商品・サービスなど〉を《購買する》とは、
 [〈会社・組織・消費者・客〉が] 〈商品・サービス〉を {購入する・買う} ということ。
例：わが社はリサイクル製品を積極的に購買する。

(157) 【雇用：こよう】 名詞スル

1. 〈企業・個人など〉が〈人・労働者・ある職業の人〉を《雇用する》とは、
 〈企業・個人〉が〈人・労働者・ある職業の人〉にお金を払って雇うということ。
例：わが社は今年50人の技術者を雇用する予定です。
- 2a. 〈企業・産業など〉の《雇用》とは、
 〈企業・産業〉が労働者を雇うこと。
例：サービス業の雇用が増加している。
- 2b. 〈人・労働者〉の《雇用》とは、
 〈人・労働者〉が企業などで仕事を得ること。
例：若者の雇用機会が不足している。

(158) 【合議：ごうぎ】 名詞スル

- 1a. 〈人々：裁判官・委員会など〉が〔会議などで〕《合議（を）する》とは、
〈人々〉が〔会議などで〕{協議（を）する・相談する・話し合う}ということ。

例：最高裁判所では3人の裁判官が合議して決める。

- 1b. 〈人〉が〈誰か〉{に・と}《合議する》とは、
〈人〉が〈誰か〉に相談するということ。

例：次に掲げる場合には、各部の長は管理部長に合議しなければならない。

2. 《合議》による{決定・意見など}とは、
〔人々・委員会〕の{協議・相談}による{決定・意見}のこと。

例：判定は委員の合議により決定されます。

3. 《合議制》とは、
二人以上の人々が相談して決める制度のこと。

例：大事なことは《合議制》で決める。

(159) 【合成：ごうせい】 名詞スル

- 1a. 〈人〉が〔複数の〕何かを《合成する》とは、
〔複数の〕何かを合わせてひとつ〔の〈何か〉〕にするということ。

例：これは3枚の写真を合成したものです。

- 1b. [〈人〉が] 〈ある物質〉から〈別の物質〉を《合成する》とは、
[〈人〉が] [化学反応などによって] 〈ある物質〉から〈別の物質〉を{生成する・作り出す}ということ。

例：動物は体内でアミノ酸からタンパク質を合成することができる。

- 1c. [〈人〉が] 〈音・画像など〉を《合成する》とは、
[〈人〉が] 〈音・画像〉を{人工的・電子的}に作り出すということ。

例：コンピュータで女性の声を合成した。

- 2a. 《合成 [した]》〈何か〉とは、
複数の〈何か〉を{組み合わせる・混ぜ合わせるなど}した〈何か〉のこと。

例：合成した写真。合成語。

- 2b. 《合成》(の) 〈何か〉とは、
{人工的・化学的・電子的}に作り出した〈何か〉のこと。

例：合成洗剤。合成皮革。合成繊維。合成音声。合成の香料。

(160) 【コメント・comment：コメント】 名詞スル

1. 〈人〉が〔何か〕{に・について}《コメント（を）する》とは、
〈人〉が〔何か〕{に・について} {意見・感想}を{言う・書く}ということ。

例：専門家は事件について次のようにコメントした。気に入った記事にコメントする。

2. [〈人〉が] 〈何か・誰か〉について《コメント》を〈書く・出す・残す・付けるなど〉とは、
[〈人〉が] 〈何か・誰か〉について {意見・感想・評価・説明}を〈書く・出す・残す・付ける〉ということ。

例：その映画について彼は厳しいコメントを出した。分かりにくい所にはコメントを付けておく。

- 3a. 〈誰か〉の《コメント》とは、
〈誰か〉の {意見・感想} のこと。
例：皆さんのコメントをお待ちしております。
- 3b. 〈記事・ブログなど〉の《コメント》とは、
〈記事・ブログ〉に {寄せられた・書き込まれた} {意見・感想} のこと。
例：ブログのコメントに励まされた。
- 3c. 〈気持ち：お礼・喜びなど〉の《コメント》とは、
〈気持ち〉を表す短い {スピーチ・メモ} のこと。
例：それでは喜びのコメントをお聞きください。